

524
382

民國十三年
支那貿易年報

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

始



十民
三
年國
支
那
貿
易
年
報

大
阪
市
役
所
產
業
部

十三年國支那貿易年報目次

一、總

二、輸入貿易

三、輸出貿易



阿片類	一
綿布類	六
綿糸及棉花	七
金屬及鑽石	八
機械類	九
電機器具	一〇
木材	一一
砂	一二
糖	一三
アニリン染料人造藍	一四
雜貨類	一五
三、輸出貿易	一六

大正
14. 9. 29
内交

四、結

附表

生	糸	三
茶	五
棉	花	六
大豆及大豆製品	三
金屬及鑽石	三
雜穀類	三
植物油	三
獸皮類	三
獸毛類	三
卵及卵製品	三
支那の工場製品	元
言	元



民國十三年主要港別海關徵稅額比較表	四
民國十三年支那主要輸出入品別比較表	三

支那出入船舶噸數國別比較表	四
支那輸出入貿易主要國別表	五
我國輸出入貿易主要國別表	五
我國對支主要輸出入品統計表	五
大阪港輸出入貿易主要國別表	五
大阪港對支主要輸出入品統計表	五

一海關兩に對する主要各國貨幣の換算率

國別	單位	一九二二年	一九二三年	一九二四年
日本	圓	一・七二	一・六三	一・九五
英國	志片	三・一九	三・五片 ₂	三・七片 _{15/16}
米國	金弗	〇・八三	〇・八〇	〇・八一
佛國	法	一〇・二三	一三・一六	一五・六〇
印度	留比	二・八七	二・五五	二・五三
香港	銀元	一・四九	一・五一	一・五三

民國十三年支那貿易年報

一、總說

民國十三年（一九二四年）は通商上幾多の障害に災され、且つ非常なる困難を冒して取引せねばならなかつた等貿易上一の試練とも云ふべき年であつた。

年開けと共に市場稍々活氣を呈したる爲め多大の望を繋かれ、事實上半期の海關收入は十二年同期に比し四百萬海關兩の増加を示したるに拘らず、下半期に入りては種々の障害の爲め、貿易も上半期に比し衰退の徵を示し、海關收入も十二年同期より僅かに二百萬海關兩を増加したに過ぎない。先づ第一の障害は七月及び八月に於ける大洪水で、運輸交通を阻害せしは勿論、延いては北支那に於て大饑饉が起り、次いで上海、天津、秦皇島附近に動亂が勃發した。顧るに最近十年間支那に於ては毎年間斷なく何れかの省に動亂起り、其省の取引の障害となつて居るが、流石廣大なる地域を有する支那の事にて、一地方に起れる動亂も他地方には差したる影響も及ぼさず、平穩なる地方にては盛に商賣を續け得る状態である。然るに本年の動亂は共和政府を覆して新に執政々府を建設した程で、其影響の及ぶ範圍も全國に亘り、天津、漢口、上海、廣東等支那貿易の中心地に對しては、運輸交通の阻害、金融逼迫等直接間接の惡影響を及ぼして居る。尙其他不法なる掠奪及び土匪が逐年増加し各省殆んそ其害を蒙らざるものなく、加ふるに苛酷

なる地方税の爲め、支那の諸工業殊に南支那に於ける燐寸工業の如きは甚大なる障害を蒙つて居る。以上諸種の國內的原因に加ふるに、對外的にも金フラン問題の未解決、米國皮革工業の不況、其他歐洲に於ける一般經濟界の不振等に災されて、輸出貿易の發展を阻害する事甚だ大であつた。

要するに全年を通じ海關收入に於て約六百萬海關兩の増加、對外貿易額に於て約一億一千三百六十萬海關兩の増加を示せるは、支那國民が不況時代に在つて好く勤勉の精神に富む事の證左にて、一度平和來らば支那貿易の將來は實に注目に値する。然しながら海關統計に依つて支那一般財界の全體を知り得ないのは勿論ではあるが、先づ商人の立場より見れば本年は近年になき不景氣で、激烈なる競争の結果個人の利益を減少し、又生産地高の市場安ミ云ふ状態に在り、歳末には多量の在荷を残して越年するの止むを得ない状態であつた。

次に貿易價額の一般に就て見るに本年即ち民國十三年の支那對外貿易額は金銀貿易を除き、一、七八九、九九五、一四五海關兩にして、之を昨年に比すれば一一三、六七四、八四三海關兩、更に一昨年に比すれば一九〇、〇五三、五六二海關兩の増加である。然れども右の中九四、八〇七、七九〇海關兩は輸入額の増加にして、輸出額の増加は僅かに一八、八六七、〇五二海關兩に過ぎざるは支那のため甚だ遺憾とする所である。昨年の輸入額は一昨年のそれに比較して實に二一、六〇〇、〇〇〇海關兩の減少であるが、之に反し本年の輸入額は昨年のそれに比して九四、八〇〇、〇〇〇海關兩、一昨年に比し七三、二〇〇、〇〇〇海關兩の増加を示したるはこれを償つて餘りがある。他方輸出は昨年に於ては一昨年に比し九八、〇〇〇、〇〇〇海關兩の増加であつたが、本年の増加高は激減して約一八、九

〇〇、〇〇〇海關兩を示すのみであつたが、之を一昨年に比較するに實に一一六、九〇〇、〇〇〇海關兩の増加なるのである。而して本年の純輸入額は總輸入額から再輸出額を差引きたる一、〇一八、二一〇、六七七海關兩にして、輸出總額は七七一、七八四、四六八海關兩なるがため、結局本年は二四六、〇〇〇、〇〇〇海關兩の入超で、一昨年の二九〇、一五七、〇〇〇海關兩、昨年の一七〇、四八六、〇〇〇海關兩の入超に比し、甚だしき入超の増加ミ云はなければならぬ。蓋し輸出ミ輸入の數字は常に取引關係ばかりに依るものではなく、又爲替相場及び物價の騰落等によりて變動することは云ふまでも無い事である。

前述の事情からして、次の統計は最近三ヶ年間に於ける支那對外各主要國との間の貿易事情を明記してゐるので良好な參考資料となる。次表は總輸入額及び純輸入額又は純輸入額ミ輸出額との差額をも明記してゐる。尙次表から支那の純輸入額を各國別に知る爲めには次表に示す總輸入額ミ輸出額との差額を次表に表はれてゐる超過額から差引きたるものを、再び總輸入額より差引けば解るのである。斯る觀念を以て左表を見れば支那の對外貿易發達狀況に對して確實な觀察が得られるであらう。蓋し左表は少額の取引國を除外してあるを一言して置く。

▼最近三ヶ年支那對外輸出入表

國名	輸 入		輸 出	
	一九二二年	一九二三年	一九二二年	一九二三年
香 港	三三九、三六八	二四八、〇五三	二四三、九九九	一七三、一六三
			一六九、九九六	一七五、七六六

(單位千海關兩)

二、輸入貿易

民國十三年の支那輸入貿易總額は十億一千八百二十一萬六千七百七十七海關兩にして、これを前年の九億二千三百四十四萬二千八百八十七海關兩に比較すれば九百四十八萬七千七百七十九海關兩の増加となる。而して更にこれを同年の日本金に對する海關兩の平均爲替換算率（一海關兩—日本金一圓九十五錢）を以て換算するときは金十九億八千五百五十一萬八百二十圓十五錢となり、昨年の輸入額を同じくその爲替換算率一圓六十三錢を以てするときは十六億八千九百八十二萬七千二百八十三圓二十一錢となり、差引二億九千五百六十八萬三千五百三十六圓九十四錢の増加となる。

素より以上掲けたる數字は極めて大體のものにして、以て直ちに前年との貿易額を比較することは出来ない。即ち海關兩を以て評價され居ること、一般に爲替相場の高低其他各國の政治經濟政策が支那の輸入商品の價格に大なる影響を與へるものにて、例へば或年に於て一〇〇圓の價格であつた同質同量の商品が前年には九五圓、翌年には一〇五圓なる様なきがあるのである。従て斯る價格の變動は支那の輸入貿易上毎年多少の影響を與へるのは勿論である。以下輸入貿易の上に表はれたる數字に基き本年の輸入貿易の如何に盛なりしかを示し、同時に重要商品の取引狀況及び支那國民の購買力の如何に増加しつゝあるかを示して見よう。

而して次表は過去六年間の主要輸入品（綿布類、毛織物、金物類、雜貨類）の總額を示すものにして、前三者は其等

の種類中の海關通過品全部を包含し、最後の雜貨類は各年の海關統計額の殆ど半額を含むものである。而して該四項商品の輸入額は、毎年支那に於ける輸入總額の約四分の三を占めて居る。

最近六ヶ年支那主要商品輸入表

（單位封度）

品目	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年
綿布類	二〇九、七六六	二四六、八三三	三〇八、六三三	三二八、五三三	一七三、五二〇	一八八、五〇一
毛織物	三、六二四	四、七九一	七、四〇八	八、七九四	一九、〇四二	一七、六九三
金物類	五、六〇九	九、五七三	六〇、〇七	四九、九八	四四、九三六	六七、七〇
雜貨類	二〇六、五三三	二六二、五四五	三五六、二九	四一〇、〇七	四四六、五三三	四八六、三三三
計	四二四、九三二	五二四、七二二	六三三、四四七	六六七、二二二	六六六、〇三三	七九〇、三六六

阿片

阿片は輸入禁制品なるに不拘、公然の秘密として取扱はれ、現に之が栽培のために廣大な土地が充てられて居る。最近萬國聯合會主催でジェネバに開かれた阿片會議に對して、支那は世界最大の阿片產出國の一として使節を之に派遣して居る。一九一七年阿片禁煙が喧しく唱道せられて以來、關東州に於ては法定消費高を限度として、輸入することを許可したのであるが、元來この阿片禁煙問題は支那の重大問題たるのみならず國際會議の由々しき大問題なるを以て我國は關東州に勅令を發布し大正十三年九月一日以來阿片の輸入を禁止した爲め、大正十二年には輸入額が三〇、一九三担あつたのが、大正十三年には二六四担迄減少した。次に示す統計は税關で沒收した阿片、モルヒネ、コカイ

ンの量に過ぎないのであるが、これのみを以てしても支那國民が如何に多量の阿片を消費しつゝあるかを窺ひ知り得べく、廣大なる版圖を有する支那に於ては巧に官憲の監視より逃れて密輸の行はるゝ額も決して鮮くはないのである。

民國十三年中税關で没收したる阿片、モルヒネ、コカイン其他の藥品は總額實に六、七九五・四〇海關兩に達し、罌粟の没收高のみにても四、〇三六封度に達したのである。今前三者の最近八年間の海關没收量を示せば次の如くである。

年次	阿片	モルヒネ	コカイン
一九一七	二〇、四六八	二一九	三二二
一九一八	二六、六七六	一四七	一五
一九一九	四八、三七五	二一三	一六四
一九二〇	八六、六二七	七四二	二六四
一九二一	一五〇、一〇四	六四七	七六四
一九二二	六八、五〇〇	五五七	四〇六
一九二三	五一、六一一	一、一〇〇	二九四
一九二四	八五、八〇四	七八二	一一九
計	五四八、一六五	四、四〇七	三、〇五八

綿布類

民國十三年の綿布輸入高は前年に比して一五、〇〇〇、〇〇〇海關兩の増加を示してゐるが、一昨年に比し三〇、〇〇〇、〇〇〇海關兩の減少を示して居る。今過去三ヶ年間の綿製品輸入高を戦前の一九一三年の價格を標準にみつて見るときは十一年の二億一千八百五十二萬二千海關兩は一億二千四百一十一萬七千海關兩に、十二年の一億七千三百五十二萬海關兩は九千七百二十四萬二千海關兩に、本年の一億九千八百五十萬一千海關兩は一億六百十三萬海關兩に相當して居る。

一九二二年(大正十一年)	一一一、四一七、〇〇〇	海關兩
一九二三年(大正十二年)	九七、二四二、〇〇〇	
一九二四年(大正十三年)	一〇六、一三〇、〇〇〇	

由是觀之民國十三年は前年より約九、〇〇〇、〇〇〇兩の増加であるが前々年よりは一五、〇〇〇、〇〇〇兩の減少なる。斯の如く大正十三年の綿布貿易は稍々復活したきは云へ前年の損失額を填補するには不充分であつた。斯くの如き綿布の不振は貿易の逆調ミ支那の織物工業の苦しき競争ミに依るものである。

次に示す表は綿布類中主要品の過去三ヶ年に於ける輸入状態を表はしてゐる。就中生金巾、粗布、綾木綿、細綾木綿、天竺布等は民國十二年の貿易不振の時に於ても米國よりの輸入多く、反對に日英品の引續き減少を告げたるは注目し得る所である。ターキーレッド、染天竺布等は前年に比して増加し、他の種類も亦幾分宛の増加を示して居るが、其他の綿布類は益々一般化して消費増加の傾向を示してゐる。

したが、本年全體としての金物市場は左程好況を示さなかつた。這是蓋し夏秋の候に於ける洪水による飢饉に内亂によつて交通の便を絶たれたる一方、奥地に於ける購買力減少の爲に問屋筋も止むなく多量の鋼、鐵材を庫入れし、奥地の消費者に引渡し不可能なるも、偶々受渡し得たりするも其の代金の回收が容易でないことに依るものであるが、他の原因としては英米間のスターリングダクロスレートの低落により英米品は高價となり、支那向き商賣が歐洲大陸筋に向けられた事である。

然れども本年末の二ヶ月間に於ては景氣回復の曙光見え、就中亞鉛引鐵板、錫板、鐵管、鋼條等の注文が續出し、他方英米の爲替相場は整調されて大部分の取引が米國に取交はされる様になつた。本年の金屬類の輸入總額は六七、八〇〇、〇〇〇兩にして、昨年四四、九〇〇、〇〇〇兩、一昨年四九、九〇〇、〇〇〇兩に比し激増を示して居る。主要金屬類の過去二ヶ年間の輸入高を示せば次の如くである。

品目	一九二三年	一九二四年
銅	二五五、一五二	五九七、〇九七
鐵及軟鋼鐵製品	四、七三二、〇〇三	七、六九七、八九〇
亞鉛引鐵鐵板、鐵線	三八三、九七三	四七八、五九八
鉛	一八三、四〇一	一九七、〇二六
水銀	一、四三五	九〇一

(單位担)

機械類

鋼	一三七、〇一八	一八四、四五二
錫(錫板、錫製品)	五八、五四四	五八、九八九
鐵	四九三、一六二	八九二、八一九
鐵板	五一、三九九	二六、二四二

昨年末に於ては新春と共に機械取引は空前の盛況を呈するであらうと期待されてゐたが、事實は之に反對で不幸にもその期待は全く裏切られた。即ち年初に於ては新設工場に對する機械の注文、工場擴張、模様替へ、其他運轉經常費等の投資は別とするも新企業への投資は財界逼迫のため甚だ緩慢を極めた。故に多數の取引照會は機械輸入商に發せられて近來になき機械の需要を見んかとも思はれたが、資金の缺乏の爲めそれ以上の進捗を見なかつたが、然し機械に對する欲求の強いことを推知することが出来る。而して下半期に入らんころ頃から稍活氣を帯び來つて、相當引合も確實性を帯びて來たが、九月に入つて突發した江浙戰のために再び商賣は驟暈せられ、契約も總て取消され、新設工場に對する分なごは全部見送りとなつた。加之賣掛代金の回收も意の如くならず、遂に甚だ悲慘裡に本年の機械市場は終りを告げた。要するに支那は相續く内亂より脱がれて、支那産業の勃興するに於ては確かに各種機械を要し、又續いては高級の機械類の需要も必然起るべきであらうが、今日の狀態にては如何にもなし難く、たゞ將來支那の機械市場は甚だ有望なりと云ひ得るに過ぎない。

次に最近三ヶ年の主要機械類の輸入額を示せば次表の如くである。(單位海關兩)

品目	一九二二年	一九二三年	一九二四年
農業機	六九五、七三二	三〇一、七一六	二七九、一五八
推進機	二、三九五、四九〇	一、四七四、三四九	一、九〇六、一五五
(タービン、ボイラー其他)			
紡績機	三〇、四八〇、三七六	一一、三一六、四八六	五、七〇九、五六九
刺繡、編物、裁縫機	七六九、〇七六	七〇一、八四六	八七八、四〇五
其他の機械器具	六三四、三六九	四六三、二六三	六三八、二二四

電機器具

電氣機械、器具材料は前年に比して著しき進歩の跡なく、他方内亂の繼續が工業發達に餘程の支障をなつたことは前項で述べた如くであるが、電機器具は支那市場に於て各國の競争が激甚を極めた爲め、相場は非常に引下げられ電機器具取扱商人は何れも大した利益を擧げ得なかつたのである。尤もその間大口の注文も相當にあり、即ち常州電氣公司、北票煤礦公司、蘇州電氣公司、啓新洋灰公司、厦門電力公司等の注文は是であるが、此等の大部分は歐洲大陸方面に向けて發せられた。尙英國筋は山東省の登州、臨城等に電機販賣の契約を結び、又滿洲、河南、福建諸省の發電所向きの注文も取交はされた。電氣附屬品中扇風機は需要激増の爲め近來相當の額に達するに至つた。猶此扇風機販賣の競争は頗る激しく、歐洲人中には態々來つて直取引するものさへ随分あつたが、實際大部分は米國人と輸入契約が

結ばれた。全支那に於ける電機器具の輸入總額は昨年には約八百十萬海關兩にして、本年は殆んどこれに等しく八百二十萬海關兩に達した。今過去二ヶ年間の電機器具の輸入高を主要國別に示せば次の如くである。

(單位海關兩)

國名	一九二三年	一九二四年
米國	一、三二二、〇〇二	一、二二五、三四三
白耳義	二、三二二、七〇七	三、一五五、二二一
獨逸	二、〇六四、一一九	二、一七〇、九三七
英國	一、二四四、五一九	一、二三六、一一二
和蘭	二、一九、〇六二	三、六六、八三六
日本	二、四九五、一三一	二、一七〇、八四四

木材

本年春期に於ける支那投機筋の需要狀況は著しく注目を惹いた。這は昨年末に於て支那人工場に於ける外國木材の在庫品が極めて少かつたこと云ふ事にも依る。即ち十三年の初期於ける木材は非常に高値であつたが、猶他の理由としては日本方面より復興材料の需要旺盛なるべきを見込んで價格を釣り上げたものと思はれる。而して此等は大部分米國、加奈陀から輸入せられ、實に春季軟材の輸入額のみにも六千萬呎に達し、價格も千呎につき六十五上海兩を唱

へられてゐた。其後日本からの注文も時々ならず、日本向にして貯へられて居た多量の在荷は米國筋の製材工場の手で（日本人の注文に反抗的に）支那市場に破格の値を以て投資された爲め千呎建三七兩迄下落した。然るに秋價格は持ち直し、年末までオレゴン松材は約四五兩迄騰つた。乍然聞く所に依るに支那問屋筋では三八兩位で手合せされた事の事である。斯くして年末は多量の在貨を以て越年したがこれも一に春より夏にかけての市價の低落、飢饉及び内亂による影響であらう。本年の軟材總輸入高は昨年倍額で實に二八七、八二四、〇七二平方呎に達したのである、蓋し昨年は一二五、一三六、一三四平方呎であり、一昨年は餘程少く五五、〇〇〇、〇〇〇平方呎であつた。他方硬材は昨年と大差なく本年は一、六九五、三三三立方呎で昨年の一、五九八、二六五立方呎に比し僅少の増加を示したのみである。軟材の主要輸入先は米國（一六二、〇二四、五五二平方呎）、加奈陀（二八、四二七、七五〇平方呎）で、硬材は主に香港（一、四六二、〇五六立方呎）を経由し、日本（一四五、二四二立方呎）、比律賓群島（一〇、七七七立方呎）、新嘉坡（九、六六〇立方呎）の順位である。

砂 糖

本年の砂糖出廻りは前年に比し四割の減少を示して居るが、之は全く砂糖商等が先物思惑により一、〇〇〇、〇〇〇上海兩の損害を被つた事に原因して居る。年初に於ては担建一一・五〇上海兩を唱へ二月頃には騰貴して一二上海兩になつたが、漸次下落し年末には担建八・三〇上海兩になつた。本年の砂糖貿易について特に注目を惹いたのは瓜哇糖

日本糖の激しき競争にして、價格の競争は遂に原價を切れるまでに下落せしめた。本年の砂糖輸入高は前年に比較して、赤砂糖が一、九〇〇、〇〇〇担に達して九〇〇、〇〇〇担の増加、白砂糖が二、五〇〇、〇〇〇担を示して一、一〇〇、〇〇〇担の増加、精糖が四、四〇〇、〇〇〇担で一、〇〇〇、〇〇〇担以上の増加であつた。主要輸入先は香港（四、六四一、八〇五担）で、日本（二、二九六、七五七担）、蘭領印度（一、二八九、二三三担）が之に次いで居る。

アニリン染料 人造藍

税關の統計ではアニリン染料の輸入高は非常な増加を示して居るが、一般の取引は却て不況を告げたのである。これ支那に於ける洪水による飢饉と内亂とは此の方面にも悪影響を與へ、爲めに奥地商人に多額の貸付ある支那問屋筋は之れが回收をなす能はず、且又上海等にも多量の在貨を擁して如何にもなし難く、遂に年末に至つても十四年に持ち越すの止むを得ざるに至つたからである。尤も價格は前年と大差なき所を上下して居たが、何れか云へば下押氣味であつた。然し茲に注意すべきは上海地方の織物工場に於ける染料消費高の増加にして、これ支那に於ける織物工業の健實な發達の證左と見るべきである。本年の染料の總輸入額は一〇、六一〇、五八五海關兩にして、昨年七、九四三、三二一海關兩に比して非常なる増加と云はなければならぬ。而してこの全價額の約九割は獨逸製品で、残りの一割は米國、英國、瑞西、佛國等の供給する所となつてゐる。

次に人造藍は本年の初期在貨缺乏によりて商人は非常なる利潤ありし如く、輸入額も前年の二十五萬六千二百担よ

り四十二萬一千二百十四担に増加し、尤も此の多量の輸入によりて価格は次第に下落し、事實上獨逸の藍は一月頃担六十四兩を唱へたが、年末頃には遂に四十八兩に下落した。而して獨逸はその輸入總額の約六割を供給しつゝある現狀であるが、其の間日、英、米、瑞西等の製造家の烈しき競争も行はれて居る。

雜貨類

次表に示す如く支那へ輸入される主要雜貨類の過去三ヶ年間の比較統計は頗る興味のある問題である。就中自轉車、ガソリン液體燃料、自動車、貨物自動車等の輸入増加は支那に於ける交通の發達を明かに物語るものにして注目すべきである。

品目	單位	一九二二年	一九二三年	一九二四年
麵類	擔	二九,六七一,六二四	三〇,三八一,八七六	三〇,五七〇,五二八
麥酒及黑麥酒	海關兩	一六八,八五三	一六八,三八〇	二九七,〇五三
自轉車	輛	九七六,六三三	八二一,二二一	八六二,九七四
建築材料	噸	四四三,一八八	五九七,二八〇	一,〇〇七,四六七
蠟燭	擔	九,八六一,五七四	八,九九〇,三五〇	八,八四一,四八七
桶類及桶材料	海關兩	一〇七,九六九	二八,八四四	六,〇七〇
紙卷煙草	千本	一,三二一,三〇七	一,二四八,六五七	一,〇四一,二六八
		九,八三七,二七	一〇,一六六,八三三	九,七五三,七三四

葉卷煙草	千本	三二,二四二	二五,二五五	二四,九六三
石炭	噸	一,一五一,三九二	一,三六六,一〇八	一,六二〇,一〇六
麥粉	擔	三,六〇〇,九六七	五,八六六,五四〇	六,六五七,一六二
ガソリン其他	瓦	四,八八二,七二一	六,三〇七,八二五	七,二五五,〇九三
人蔘	斤	二七〇,八三九	二〇一,六一八	一八四,〇九三
彈性護膜製品	海關兩	二,七三三,七四〇	一,九七三,四七九	二,一九五,〇三〇
ケロシン油	瓦	二〇九,一九二,一〇三	二二四,八三五,六六九	三三三,二〇七,一〇五
液體燃料	噸	六二,七六二	五七,二六七	一〇四,〇三三
機關車及炭水車	海關兩	四,四〇六,一〇一	一,一六九,六八〇	一,〇六四,六六三
機械油	瓦	六,三〇六,七九〇	七,四九九,八八〇	九,二二八,六〇三
肥料	噸	九八三,五五三	一,〇四九,二九八	一,〇二六,九六三
燐寸	哥	二,七〇二,九九六	二,二四一,二六	二,七三四,八八五
牛乳及煉乳	打	七三,一二六	八三,七二五	三六,四九四
自動車及貨物自動車	海關兩	五三,六〇五	六三,二八八	六七,六七二
軍需品	噸	二,二九七,一五五	二,一五五,六六七	三,二〇五,三三三
ハンキ及ハンキ油	擔	九三七,二八〇	七九二,四四八	一,五八九,六六九
紙類	噸	二二五,〇四八	二〇四,五八	一六七,一七五
客車及貨車	海關兩	一,二八三,一六六	一,五五六,四三三	一,〇一〇,一〇四
		九,二六一,九二	一,七七七,五三九	二,一四五,一九六

鐵道請材料	八、七三、五七	四、五五九、八二六	五、五七四、二〇三
米及糙米	一九、五六、一八二	三、四三〇、九六二	三、一九八、〇五四
海草及寒天	六〇九、七九九	六九三、三六四	五六〇、九二五
石鹼及石鹼材料	二、五三、四三九	二、八七四、四〇二	三、二八一、九二五
酒	一、三四、八三三	二、一九、四五一	二、〇四一、九〇〇
小包郵便	六、九七、二三二	七、〇七、九八四	六、八五、〇九四

三、輸出貿易

本年の支那輸出貿易總額は七億七千七百七十八萬四千四百六十八海關兩で、昨年比し千八百九十萬海關兩の増加であつたことは既述の通りである。而して昨年は一昨年比し九千八百萬海關兩の増加であつた點より見るべきは本年の輸出貿易は期待せられたるが如き發展を見るべきが出来なかつたのである。

乍然、輸出高き價格の關係はすでに輸入の部に於て述べたるが如く、此の考慮を輸出の場合に等しく應用するにしても稍々趣を異にする。蓋し輸出價額は對外爲替の變化に依つて大した影響を受けない（但し國內爲替には多少の影響は免がれることは出来ない）が、主として生産原價、天候並に政變等に影響される所が多い。故に數字に表はれたる所を以てして最も注意すべき事は受取勘定として諸外國から支那に流入する金額の比較的確實なる觀念を得ることである。貿易の差額は既に記したるが如く二億四千六百萬海關兩の輸出超過にして、今主要輸出品につき次に概説して見やう。

生糸

本年は佛國の生糸市場が弱氣で且つ閑散であつた爲め支那の生糸市場も大したる活況を呈せず、僅かに米國よりの

注文によつて稍活氣を添へたる位のものであつた。乍然支那の生糸類の價格が一般に高價であつたのは爲替關係、生産地高のためにもよるが、支那問屋筋が市況の下押に策動することにも依つたのである。其結果支那の生糸は販路の地盤を失ひ、その間圓爲替の低落により格安になつた日本品が米國筋に多量賣込まれ支那商人は幾多の商機を逸したのである。

支那生糸の品質は昨年比して餘程改良せられ、殊に柞蠶糸と野蠶糸とは著るしきものがあつた。下級品の四川生糸は近年その聲價あがらず、加ふるに他の生糸に比較して餘程の安値なりしにも拘はらず、繭の供給過少なりしたため四川省生糸は活氣ある市況を展開することが出来なかつた。上海市場に於ては本年は年開けと共に歐米の取引盛にして活氣を呈したが、二月に入るや俄然市況鈍り相場は一般に下落の傾向を示した爲め、多量の生糸は在庫の儘手許に留置するの已むを得ざる商狀を呈した。其間僅かに間歇的に歐洲、印度方面からの注文があつたが尙大口を濕ほすに至らず、殊にリヨンの如き法價の變動の爲め非常な悪影響を被り、又紐育市場は餘り高相場なりし爲め買氣付かず、三月末より五月の始めに至つて市況稍々回復し新物値段は次の如く唱へられた。

最優等機械絲	一、二八〇 海關兩
優等機械絲	一、一五〇 "
上等一番機械絲	一、一〇〇 "

米國方面よりの引合は依然閑散にして、佛國及び日本殊に日本方面より柞蠶糸の引合が盛に行はれた。六月に入つ

ては一層不振で、月末には相建一〇〇海關兩以上の下落を見るに至り、リヨン方面へ生産費に近き値段で二千俵ばかりの引合が出来たのみであつた。七月に入つて市況稍々硬化したるもの、如く、主として歐洲方面より白糸、黄糸と米國方面より柞蠶糸に對する買付があつた爲である。かくて八月に入りて市況更に好轉の機械絲及び七里絲(繰返)に對し歐米共に買進み來り、價格も昂騰したが、他の生糸類は依然不振の状態であつた。當時勃發した内亂の爲め奧地との交通は杜絶するや忽ち市場再び軟化し、九月乃至十月は生糸取引は全く中止の状態で僅かに米國筋の買氣と支那商の思惑買等の僅かな手合を見せた外全く閑靜にして相場も漸次下落した。十一月に入る頃市場再び回復し、米國より機械絲の注文があり、又リヨンから四川、山東省の黄機械絲三千俵の注文があつたが、其他の生糸は依然不振で一般の注文は殆き無く、斯くて年末は閑散裡に次の如き價格を唱へて暮れたのである。

品目	價格
最優等機械絲	一、二〇〇(海關兩)
優等機械絲	一、一〇〇
上等一番機械絲	一、〇五〇
四川最優等機械絲	九六〇
山東優等機械絲	九〇〇
柞蠶糸上等一番二番物	五四〇
柞蠶糸優等及一番地方出廻物	三一五

廣東生糸市場は上海の市場と殆ど同様の氣配を辿つたが、南方市場に於ては北方上海市場に比し價格の變動が毎年甚だしい。米國は昨年在貨少かりしに不拘、廣東に於ては在庫品は増加し暫く見送りの状態であつた爲め、上海よりも餘程ひさい暴落を見た。九月に入りて米國方面からの註文により廣東市場向け需要恢復したりしも、歐洲との取引は依然不振で年末に至るまで商取引を見る事が出来なかつた。翻て本年の支那生糸貿易を觀察するに次の諸項が特に注目する。先づ第一に國內の消費量が増加した事であるが、これは新式の施設により簡易なる織物の製造が發達し、これが原料として多量の生糸を要求するに至つた事乃至はメリヤス工業の著しい發達したことに基因する。第二には蠶の飼育が著しく減少したことに、第三には支那生糸の枠は日本のそれに比し容易に巻き付け得ざるが爲め米國市場に於て歡迎されず、加之人造絹糸の一般的需要の増加に影響されたことも看過出来ない。而して本年度は白生糸が頗る多量で八六、〇四〇担、黃生糸が二二、六六二担、野蠶絲（機械糸及非機械糸をも含む）が二二、五七二担に達し、何れも昨年及び一昨年のそれに比して大差がない。唯白絲を除いて昨年の總量は九九、四一四担で本年は八六、〇四〇担迄減少した。

生糸改良事業

近年支那生糸貿易の目覺ましき發達なきは養蠶業の或は衰へたるにあらざるかと思はれるが、實際製造用に使されてゐる紹興繭は一担の生糸を生産するに乾燥せるもの四担二十五斤乃至四担半を要したるに、現在に於ては五担二

十五斤乃至五担半の繭を要するに至り。無繭繭は一担の生糸を得る爲に昨年前迄は五担二十五斤乃至五担半を要してゐるが、現在では六担乃至六担半を要するに至つた。尙生糸で有名な浙江、江蘇省に於ては近年養蠶の爲めに供せらるゝ土地は所要の三分の一に達してゐる云ふことである。従つて在支萬國蠶絲改良委員會は意を茲に注ぎつゝ、あるも地域が廣大なるがため、改良の普及しない嫌があり漸くその一割位しか行届いて居ない。然しながら桑樹の栽培然しながらは計畫通り着々効果を收め歩を進めてゐる。

茶

春期に於ける降雨の多きと、労働者の手不足に加ふるに生産費の増加等は相俟つて、昨年より本年にかけての製茶産額を近年稀に見る不作に陥らしめた。乍然本年の支那茶は品質良好にして瓜哇、セイロン茶に比しては價格も高く取引せられたが、前述の如き條件のために貿易上には可なり悪影響を與へた。

即ち春の長雨は茶の作柄に悪影響を及ぼしたるは勿論であるが、又紅茶の産出地方に於ては出稼人來らず、勞力の不足を告げ自然生産費の昂騰を來したのである。これ支那に於ては近年各方面に新式工場が創設せられ労働者を多數必要とするに至り、加ふるに本年は特に是等労働者は内亂等の爲め新募兵として徵集せられ、従つて季節的労働を必要とする製茶業に充分なる労働者を得ざるのみならず、高價なる賃銀を支拂はねばならなかつた爲めである。その結果本年の製茶貿易は價格も高價にして取引高も相當額に達したるに不拘、紅茶取扱商人中には相當の損失を蒙りた

るものありて其の額二十萬兩に達した云はれて居る。他方緑茶は霖雨のために品質を多少害したるに、作柄少しく減少したる以外には前者の如く努力の不足も無く、商談相次いで成立し相當の活況を呈した。

紅 茶

本年の新茶開市と共に相場は俄然奔騰し祁門^{チメン}最上等品は担建八〇乃至九〇兩となり、寧州上物は六〇乃至六五兩を唱へ、九江では祁門の上物で一時担建二〇五兩を唱へたるにさへあつた。斯の如く市價好調なる反面に昨年来引續き生産費向上して再び十兩見當騰貴した。取引は七、八、九の三ヶ月間が最も多く、殊に露國から多量の注文があつた。茶は主に祁門、寧州品にして、前者は三一兩乃至九〇兩、後者は三〇兩乃至六五兩見當にして殆んそ在貨なきまでに買り盡された。漢口地方の茶は九月以降相當の取引も行はれた模様なるも、期末には價格も担建一八兩乃至二四兩となり、極めて不振の裡に終つた。爲にその品質の悪い茶で翌年へ持越されたものは約二五、〇〇〇半箱に達した。因に半箱は茶四八斤乃至五四斤入にして、今年及び昨年度の支那茶總産額は大體次の如くである。

一九二三年		一九二四年	
祁門	七五、〇〇〇 半箱	祁門	八四、〇〇〇 半箱
寧州	四六、〇〇〇 "	寧州	四二、〇〇〇 "
漢口	四一五、〇〇〇 "	漢口	三〇〇、〇〇〇 "

福州の工夫茶^{コンゴウチャ}は品質が甚だ悪かつたが生産額は昨年比して一割五分の増加であつた。然も市況好調取引殷盛を極めた爲め、季節末には僅か三、五〇〇箱の在貨を有したるに過ぎなかつた。反之新泉小種茶^{シンセンコシュウチャ}は製茶業者の改良によつて

品質向上し、産額を増加する爲めに雜種茶を混合するが如き方法を避けたのである。斯の如き改良の結果産額が二割六分減少したが、優良茶は担建八五兩にて取引せられ、期末には下級品は二、三〇〇箱見當の在貨を見た。福州の商人は製茶取引の旺盛なりしたため相當の利益を得たるもの、如くである。

綠 茶

前述の如く、本年の緑茶生産高は收穫は平作以下なりしに不拘、取引は活氣を呈した。價格は五兩乃至六兩邊り迄騰貴したが、常に供給は需要に伴はざる有様であつた。爲に季節末には在庫品皆無云ふ良好な結果を示した。今過去二ヶ年の緑茶の産額を示せば次の如くである。

	一九二三年	一九二四年
平水茶	一三四、〇〇〇 半箱	一二五、〇〇〇 半箱
山茶(熙春茶等)	二五八、〇〇〇 "	二四五、〇〇〇 "
小珠熙春鳳眉茶ニ混合サレタ平永茶	一五、〇〇〇 "	一五、〇〇〇 "

更に本年及び昨年支那茶の輸出高は次の如くである。

品目	一九二三年	一九二四年
紅茶	四五〇、六八六 担	四〇二、七七六 担
綠茶	二八四、六三〇 "	二八二、三一四 "

磚茶 毛茶 其他

磚茶	八、六一五	一九、三八二
毛茶	二、二六四	二、一一〇
其他	五五、二二四	五九、三五三
計	八〇一、四一七	七六五、九三五

猶紅茶、綠茶の國別輸出高は次の如くである。

紅茶	英國	一六四、三九八	擔
	香港	六六、五二一	"
	露國	三一、四一〇	"
	獨逸	二五、五四六	"
	和蘭	二四、五七九	"
	米國	二二、五二四	"
	土耳其、ペルシヤ、埃及	九六、五三六	"
	米國	五五、四四三	"
	香港	四九、七八五	"
	英領印度	三八、四九五	"
	佛國	一一、三八〇	"

棉花

支那に於ける棉作地は陝西、直隸、山東、河南、湖北及び江蘇の諸省にして、その栽培面積は昨年比し一割方の増加であるが、その産額は昨年比大差なく約八、二〇〇、〇〇〇担であつた。斯の如き結果を見たるは天候の不良と飢饉、虫害、並に内亂の結果に他ならない。價格も全體に於て昨年より一割安にして、然も尙兵亂の影響を受けて紡績工場方面が少しも振はないがため此の安値を以てしても糸の算盤が合はなかつた。従つて綿糸市價の高値の間に於ても斯る政狀不定裡に工場は閉鎖されたるもの多く其の間時々開工したるものあるに過ぎなかつた。爲に綿糸布市場は夏の終り頃には活氣を呈し、高値を呼び居たるに紡績業者が手出し出来なかつたのは全く江浙戦並に北方地方の戰亂の影響によるものであらう。此頃日本方面より上質棉花に對する引合甚だ多く、一方紡績筋も手持薄の爲に買進まんとしたために棉花市場は俄然硬化して工場筋は再び採算出來ざるに至つた。本年の支那棉花輸出高は一、〇八〇、〇一九担で昨年比し一〇五、四四五担の増加であるが、輸出額中の八九〇、〇三九担は日本へ積出されたものである。他方支紡績業者のために輸入された棉花は米國物一〇、六九六担、印度物六六九、七二七担に達した。華商紗廠聯合會及び中國紗商公會の合同調査によれば、支那の紡績業者の消費した棉花の最近二ヶ年間の總量は五百封度俵として示せば次表の如くである。

種類	一九二二年—二三年	一九二三年—二四年
支那棉	九一六、三〇四	九三四、七七〇

(單位 俵)

米	八八、五九九	六三、四六五
印度	二八八、七八三	二六六、六七一
雜	五、一五九	四一四
計	一、二九八、八四五	一、二六五、三二〇

紡績工業

支那の紡績業は各種經濟的不振の影響を蒙りしに拘らず徐々に健實な發展を遂げつゝある。殊に支那の各港貿易表を見るに英國綿布の高價なるに比して、安價なる支那綿製品の販路が開拓せられて居ることが知られる。更に進んでは香港、南亞弗利加、バルカン諸國、土耳其等へ輸出を見るに至つた事は注目に値する所である。本年の逆調はかくの如く財界不安なるに不拘、紡績工業界は顯著なる發達を遂げ鍾數は増加し、昨年之鍾數二、五四〇、八五四鍾、織機一三、四〇三臺なりしに本年末に於ては三、一六四、〇一二鍾となり、約二割五分の増加を示した。今此の國別所有鍾數を示せば次の如くである。

英國紡績工場	二五五、二八四	鍾
日本	九〇四、八六五	〃
支那	二、〇〇三、八六三	〃

昨年は日英が二割、支那が二割の紡績を休止したが、二割五分の五分の四に當る増鍾であつた。然れども昨年は織機も一三、四〇三臺から一五、〇〇〇臺に増加したのである。

棉花改良事業

本年棉花の作柄は良好にして光澤もよく、小葉其他の爽雜物の混入少かりしにも不拘、農家乃至は仲介商が受渡をなすに際し、多量の水分を混入したのは甚だ遺憾であつた。専門家の報告する所に據れば普通の水分は七乃至八分位のものであるが時には二割云ふ多量の濕氣を含むものがあつた。若し此等の棉花が多量の水分を相當長き期間含む場合には纖維の質は著しく減殺せられ、時には紡出に適せざるに至るのである。實際此の濕つた棉花が工場に出廻る時は、紡績業者は之を使用する爲めには紡出に適當なる濕度迄乾燥しなければならぬ。これ支那政府、大學並に中國紗廠聯合會等が聯合して支那棉花の改良を計り、米國の優良種子を選び棉作改良事業に従事せるは緊要事であるが、他方此の不正行爲を禁止するにあらざれば、以上の努力も遂に何等の効果を齎らし得ないのである。

大豆及大豆品

昨年より本年に亘り滿洲大豆は降雨の爲めに濕氣が強かつたので、收穫に際して非常の困難を感じたが、本年は夏期の收穫は良好であつて、歐洲からの注文が多かつた爲め、昨年比し輸出も増加した。豆の種類には黑豆、綠豆、白豆、黃豆、其他の種類があり、これらの本年度の産額は二四、六〇〇、〇〇〇担で、昨年は一八、三〇〇、〇〇〇担、一昨年は一四、八〇〇、〇〇〇担であつた。此の數量以外に九、二〇〇、〇〇〇担は主として綏芬河より浦潮斯德を經由し、二二、〇〇〇、〇〇〇担は大連より船積され、残りは支那の他の諸港に移出せられた。大連から日本へ輸入された

數量は七、〇〇〇、〇〇〇擔にして、昨年比し四〇〇、〇〇〇担の増加で、尙残りの二、二〇〇、〇〇〇担は歐洲へ積出され、昨年比し實に二倍に達した。豆粕の總輸出高は二二、六〇〇、〇〇〇担にして、昨年比し二、二〇〇、〇〇〇担の減少であつたが、一昨年に比し一、〇〇〇、〇〇〇担の増加であつた。其中一九、〇〇〇、〇〇〇担以上が大連より輸出せられ、内一八、九〇〇、〇〇〇担は日本に仕向けられたのである。他方豆油は昨年と變りなく昨年の二、一二六、九二八担に對し二、一二二、四七〇担であつた。

金屬及鑛石

アンチモニー塊は前年に引續き輸出減少し昨年の一、九三三、一一二担より本年には一、七六六、八五二担に減少した。粗製アンチモニー及びアンチモニン及びアンチモニー鑛は昨年好成績を示したが、本年はアンチモニー塊と同様減少し、粗製アンチモニー鑛に於ては前年の四八、四〇六担より三二、二九一担に、アンチモニー鑛石は三三、九〇三担より九、四二三担に減少した。就中變動の著しかつたのは鐵製品にして即ち鐵棒は一昨年の二七、五七五担、昨年二七三担に對し本年は三四、〇七一担に増加した。鐵板は一昨年には九五担であつたが、昨年は五七、一四八担となり、更に本年は二〇担に激減した。尙其他の雜鐵製品は一昨年には七六、五二二担であつたが、昨年は一一五、九五五担となり、本年は四〇、〇〇四担と云ふ變化を示した。然し鉄鑛及び鐵鑛は逐年健全な發展をなし、就中鉄鑛は昨年比し一、〇〇〇、〇〇〇担の増加で、鐵鑛石は一、九〇〇、〇〇〇担の増加を示した。猶鉛鑛石は八一、三三七担から一

一九、五八五担に増加し、マンガン鑛は四五七、五四七担から六三七、二二〇担に増加した。他方タンゲステン鐵鑛は昨年の六六、九二九担より五〇、三二五担に減少し、特に減少の著しいのは亞鉛鑛石にして、一昨年の一、〇二二、六一六担であつたものが、昨年は一、〇〇九、六七二担となり、本年は僅に三三八、二四一担と云ふ激減を示して居る。其他の金屬及び鑛石類には何れも左程の變動なく、唯鐵鑛、鉛及び其他の金屬、鑛石類に僅かの増加があつたのみである。

雜穀類

胡麻は支那輸出貿易の重要商品であるが本年はさまでの盛況を見ず、加ふるに昨年からの持越品も相當にあり、而も市價非常に高く、爲に歐洲の製油業者は他に安價なる代用品を探るに至り、支那胡麻に對する引合は甚だ少かつた。斯の如き減收は全く内亂勃發に影響されたもので、特に内亂により鐵道輸送を妨害されたので、胡麻取扱業者は其輸送が出来る迄持荷を雨や害蟲に曝し、遂には全く使用に堪へ得ざるに至つたものさへあつた。従つて市場在荷減少し、價格は非常に上騰して、胡麻貿易の中心地たる漢口に於ては担建七・五〇兩乃至八兩となり、上海では八・三〇兩乃至九兩となつた。而して年末迄に全收穫の六割だけが賣却された。本年の輸出額は九三四、一九四担で、昨年の九九二、一八八担に比し著しき減少であつた。棉實は五五、二八八担、亞麻仁は四四、〇三八担の減少であつたが、菜種は一〇、四九六担の増加であつた。本年此三商品の輸出總額は棉實が三八〇、〇七九担、亞麻仁が八七、七二三担、菜種

が五〇二、六一六担で、雜穀類の輸出された對手國は夫々次の如くである。

日本	一、一八七、〇六六擔
和蘭	一八五、一七五〃
獨逸	一三一、五〇八〃
伊太利	一二三、三〇一〃
米國	一一七、九九四〃
丁抹	四二、三五〇〃
英國	三〇、九九五〃
佛國	一九、五五一〃

植 物 油

桐油は十三年中餘程不況で、特に價格の不振は甚だしかった。昨年の貿易は好調であつたけれど、本年の貿易は有利でなかつた。實は本年の初頭、米國より期近もの、注文が多額に上つたので、一月の前半、担建三二兩でさへ買ふ者が漢口にあつた。然し一月の後半頃から、三月迄の間の價格は二八兩三二四兩との中間の平均値段を支持したが、四月から六月の中頃迄は需要が非常に減退した爲め、桐油貿易は全く振はなかつた。そこで價格も担建一六・六〇兩に下落するに至つた。然し六月以降市況回復し、歐米から七月より十月の終頃迄引合が繼續し、勢ひ價格も上騰し年末には担建二一兩三になつた。然れども十一月から十二月迄は閑散で取引は殆きなかつた。桐油の輸出高は八九六、〇

三八担で、昨年の八三六、八八七担に比較して増加である。

棉實油は棉實の供給不足、品質低下、製油業の減退等に影響され不振であつた。棉實栽培の問題は大變重要であるが、茲許二ヶ年云ふものは五ヶ月以上も壓碎業を繼續することが出来ない云ふ状態で、且つ棉實の産額が少ない爲め地方の小部落、小都市に於て専ら地方の消費に充てられるもの多く、或は又輸送の困難、輸送費の高價の爲め棉實が壓碎業者の手に入るこゝがむづかしかつた事等が棉實の供給に餘程影響してゐるのである。幸にも埃及から有利な注文があつた爲め、僅かに價格を維持し得るに過ぎなかつた。上海では平均相場は精製品に對しては一〇・七五兩で、粗製品に對しては九・二五兩であつた。尙輸出高は過去二ヶ年云ふものは殆き變化はなかつた。即ち一〇、三〇三担であつたが、前年度は一〇、〇二〇担であつたのである。然るに他方落花生油は四六七、一四〇担から六七二、二六八擔に増加した。茶油も二二、九五〇擔から一六、九七一擔に増加してゐる。豆油は豆類の項に於て既述した。因に一般植物油の輸出される主要相手國は次の如くである。

米國	九七三、六六〇擔
英國	六四〇、一二二〃
露國	六〇九、九〇二〃
土耳其ハルシヤ其他	三八三、三八六〃
香港	三三九、九一八〃
和蘭	二八六、二五一〃

伊 太 利	一四〇、一七九擔
獨 逸	一二五、五八二〃
新嘉坡其他	一〇一、一五七〃

獸 皮 類

十三年の牛皮及び水牛皮の貿易は一體に不振であつた。初め價格が高く、之を維持して行く傾向があつたが、南米から安い指値で大量の注文があつた爲め、之が各國にひびき貿易も有利に取交はされなかつた。然し其後に至り歐洲市場に目鼻が付き十一月の頃には高値で確實筋から引續き多量の注文があつた。牛皮、水牛皮の輸出は二二七六九四擔で、昨年より六六、〇四六擔の減少であつた。山羊皮中、仕上げせざる山羊皮の貿易は餘程不利な状態にあつた爲め、昨年より二、六〇〇、〇〇〇枚ばかりの減少で、輸出高は四、六七九、八九〇枚であつた。斯る不振は米國に於ける皮革市場の不況にも依るが、尙又皮革の荷造が反則的な大重量であつた爲め、勢ひ船積量が減少した事にも依るのである。次に仕上げせられた山羊皮も亦二九六、〇〇〇枚の減少で、小綿羊皮も昨年の一、〇三一、五三九枚から六三九、五六三枚に減少した。

獸 毛 類

獸毛類も衣服用否を問はず一般に不振で、之を各別に説明すれば次の如くである。

綿羊毛は昨年の失敗に顧み多少挽回する所あつて、四八五、三三〇擔となり、昨年より一三三三、二二一擔の増加であつたが、尙一昨年の五〇七、五九七擔には到達し得なかつた。綿羊毛市場では年頭早々一月に多量の注文が最高値で申込まれたが、之は昨年の相場と同様で六月迄繼續した。其後市況は新しい刺激を受けた爲め支那商人は年頭の價格の五割方の引上げを爲した。

駱駝毛は北部支那の不利な政變に遭遇し、僅かばかりの發達も酷い打撃の爲め輸出は五五、六一八擔から三七、九五〇擔に減少した。然るに山羊毛は一六、四八六擔から三三、二七五擔の増加を見た。

支那の一般獸毛の輸出對手國は米國(四五九、四九七擔)、英國(五六、八〇三擔)、日本(三〇、六六九擔)等であつた。

卵 及 卵 製 品

十三年の卵及び卵製品の産額は昨年及び一昨年と大した變りはなかつたが、海外よりの注文は産額を凌駕した爲め商人は随分甘い汁を吸つた云はれてゐる。年末には鮮蛋の供給が有利である云ふ事で勢ひ其價格も上騰するに至つた。それが爲めか支那市場では蛋白は殆ど驅逐されるに至つたのである。輸出の大部分は歐洲に仕向けられたが米國の輸入税則が輸入船積噸數に制限を加へて居る事、日本の輸入税則の再賦課法が相俟つて、支那の貿易に餘程打撃を與へてゐる。最近三ヶ年間の輸出統計を示せば次の如くである。

品 目	單位	一九二二年	一九二三年	一九二四年
鮮卵及皮蛋	千本	一、一八一、九八〇	一、一〇一、〇四九	九四四、二五三

凍卵	二七六、〇九七	三七五、三六五	二五二、三九二
蛋白及蛋黃	四三二、三二四	三七七、五三五	四五七、九四八

右表の如く鮮卵、皮蛋及び凍卵の減少は多少の不可解な感じを與へるかも知れないが、此減少は唯に貿易の不振ばかりではなく、全く政變に影響されたものである。支那の内亂は秋期の積出を妨害して、實際卵積出の一番盛んな季節に、大きい輸出商の中には止むなく積出を中止する者さへあつた云ふことである。

支那の工場製品

最後に述べる支那の工場生産品の發達は實に支那の産業開發の手引となるべきもので最も注目に値するのである。而して其中には餘程健實な發達を爲して居るものがあり、他方國內に於て外國品の代りに國産品を代用する傾向が見えてゐる。次に示す數字は唯輸出されたもののみを包含してゐるに過ぎないけれども、世界工産品の市場に於ける支那の競争情況の指標として最近一ケ年間の重要輸出品の數字を比較考究する事は確かに興味のある問題である。先づ綿製品より述べれば第一金巾は六千九百四十反から二萬五十一反、粗布は六十二萬六千六百九十七反から百三十四萬四千七百六十九反、綾木綿及び細綾木綿は一萬七千八百五十三反から二萬九千三百七十一反に増加した。糸は本年が始めてであつたが七十八擔七十七百十五哥を輸出した。又綿羊毛交織(衣服用)が新らしく輸出されが始めてに至り、其額は二萬三千九百六十一碼を算した。次に羊毛製品の中、先づ毛布は減退し、毛織物は千五百五十二碼から五萬四千八百八十七碼に増加した。其他種々の商品中、セメントは十九萬九千五百八十八擔で、昨年よりは減少であつたが、

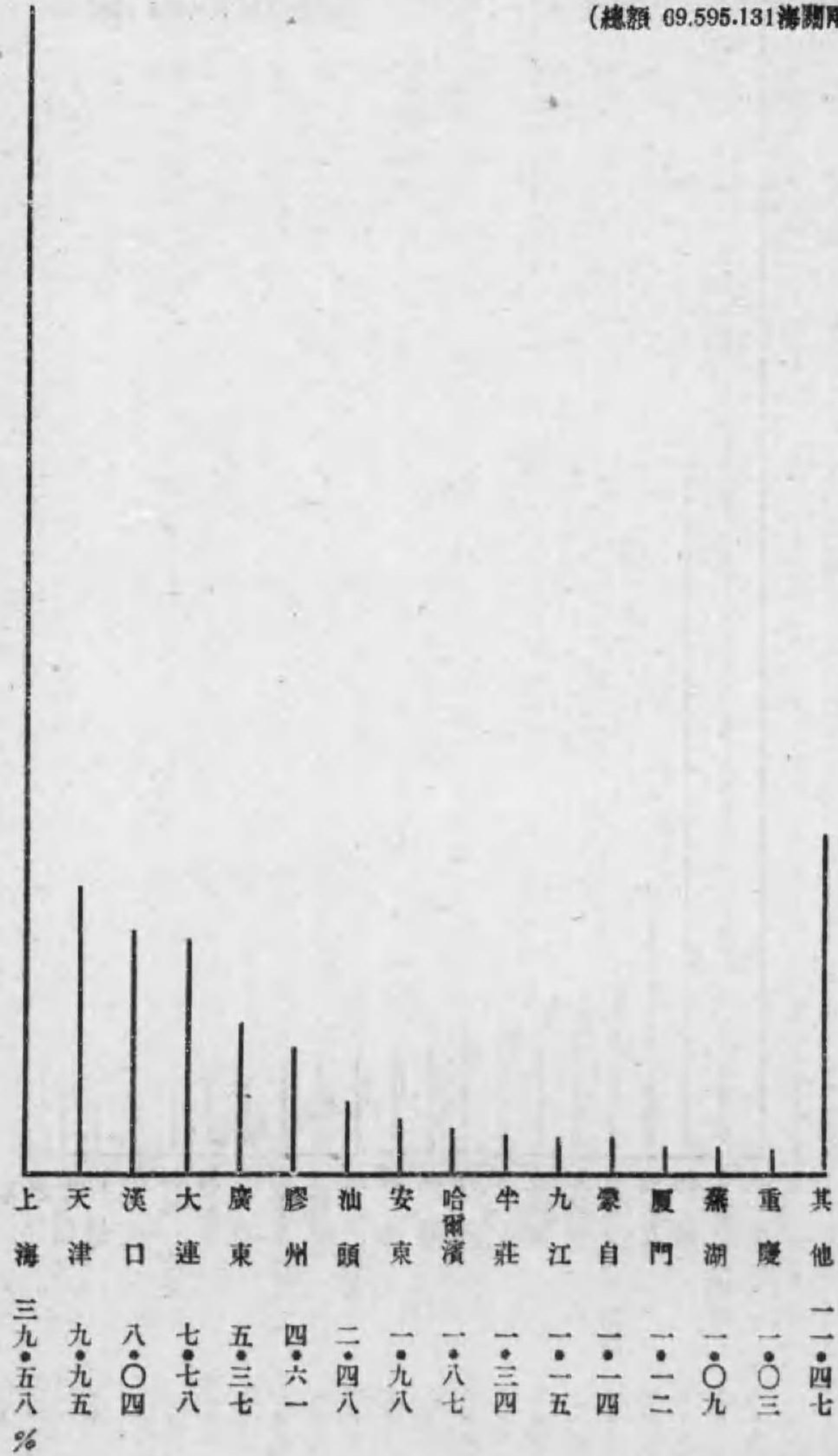
一昨年よりは激増して居る。支那の麵粉は一萬四千五十擔から十五萬五千六百八十九擔に増加した。燐寸は重い關稅と政變に影響され三百萬哥以上の減少であつた。支那の工場で製造され輸出された此等外國型の商品の總額は千八百八十一萬二千九百一十一海關兩で、前年は千二百四十四萬五千六百十六海關兩、前々年は五百九萬一千三百二海關兩を算したのである。

四、結 言

支那に包藏せらるる天然の礦産と農業上の富源は、將來支那をして今日有する世界の商戰場裡に於ける地位を更に高むるもの云はなければならぬ。近時發達し來れる工業も漸次支那内地の需要を充たし、更に海外市場へも漸次其の販路を獲得しつつある。蓋し其迄に先づ増加の可能性ある輸出貿易を、現在の輸入に比較して一層盛んにすることに留意しなければならぬ。されば年々歳々絶ゆることなき内亂に伴ふ軍事行動の爲めにする人金の劫掠を止め専ら産業立國、即ち鐵道の建設、運河の開設、灌漑或は河川の修理、鑛山の採掘等に努めなければならない。最近十ヶ年間に於ける支那輸出貿易上の三大障害も云ふべきものに天候の災害、政狀の不安定、運輸交通の不圓滑がある、然しながら此等障害中、第一の天候の災害は必ずしも人力の及ばざる所にあらず、即ち合理的なる灌漑、排水を施し、運河を掘り、堤防を築き、其他河川の修理等に依り、過剰の雨量も或程度迄之を避け、旱魃も亦大いに緩和し得ざるには非ず。次に他の二項は専ら政府の安定することに依り望なきに非るは勿論である。全く「平和の秋」こそ國

民國十三年主要港別海關徵稅額比較表

(總額 69,595.131 海關兩)

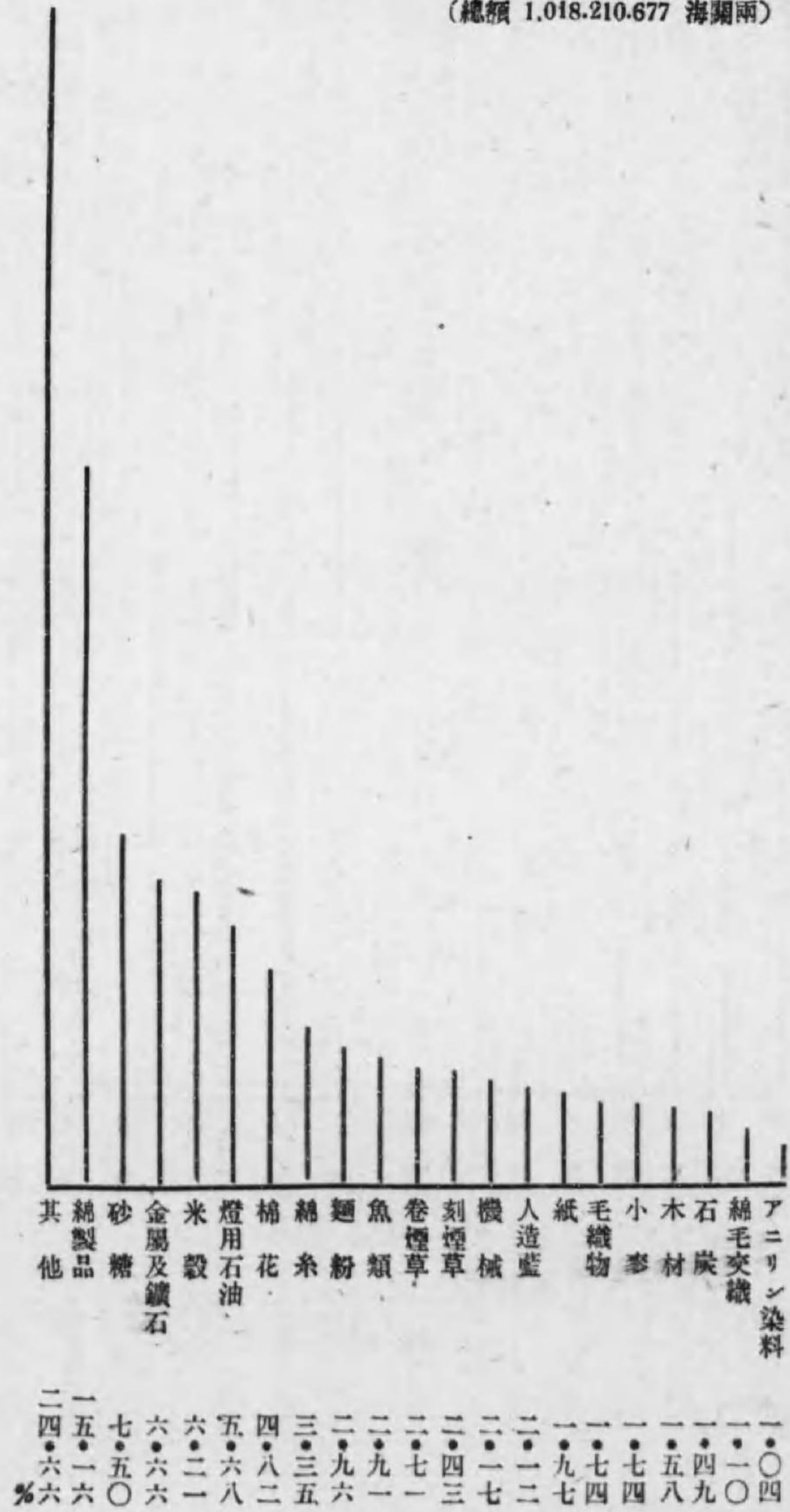


民の幸福の秋にて、於茲能く天然の富源を開拓するの域に達し得べきは明である。然し現在の状態の續く限り、原産地より輸出地までの運輸方法の不足、途中的遲滯は勿論、時には差押、掠奪等の直接損害を蒙るに共に資金の固定、金融の不圓滑は惹いて製造業者、商人間に於ける取引上に支障を來し、間接の損害を招致する等依然として輸出貿易上の障害である。他方貿易を阻害する各種の反對運動、即ち經濟絶交を戒めざるべからず。尙又各種栽培收穫方法の拙劣による粗悪品の仕向け及び價格の割高等は、海外の取引先をして見送るの餘儀なきに至らしむるにあり。最後に最も非難すべきは偽物、加水等の如き近視眼的方法を用ひ、却つて海外市場に於て支那商品の聲價を落すが如きことは絶対に避けざるべからず。尤も此等の件に就いては各大學、萬國蠶絲改良委員會、支那紡績聯合會其他棉花検査所等に依り極力改善を計られつゝあるも、廣大な國土を有する支那に於ては、當業者全體が一致して品質改良、不正防止に努めざれば、僅か少數の者が何程之を履行するにも、一方大多數の者が上記の如き悪弊を混入するに於ては支那の輸出貿易は依然として進歩を見ることは到底不可能の業である。

Foreign Trade of China, 1924.
Part I: Report and Abstract of Statistics.

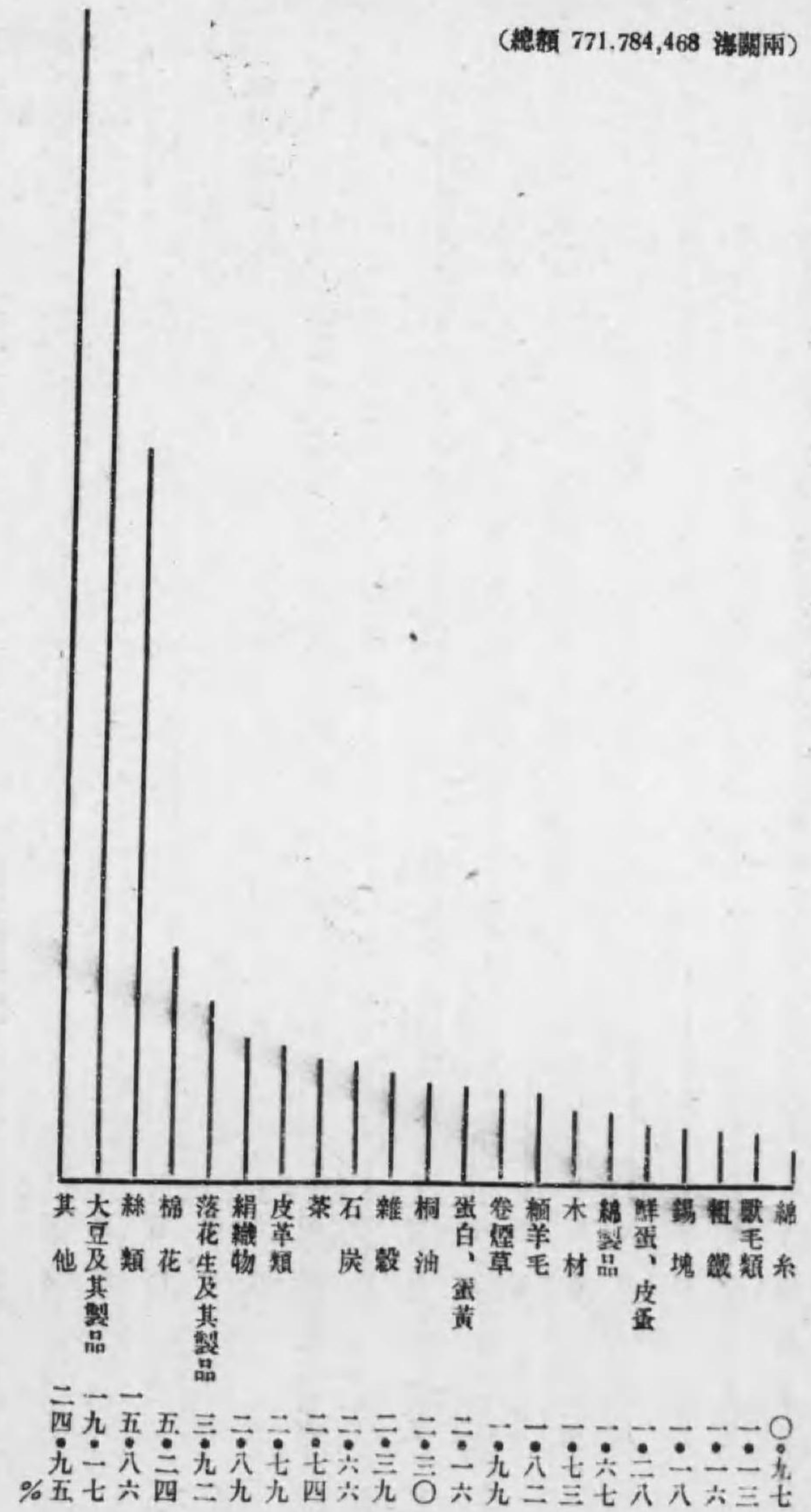
民國十三年支那主要輸入品別比較表

(總額 1,018,210,677 海關兩)



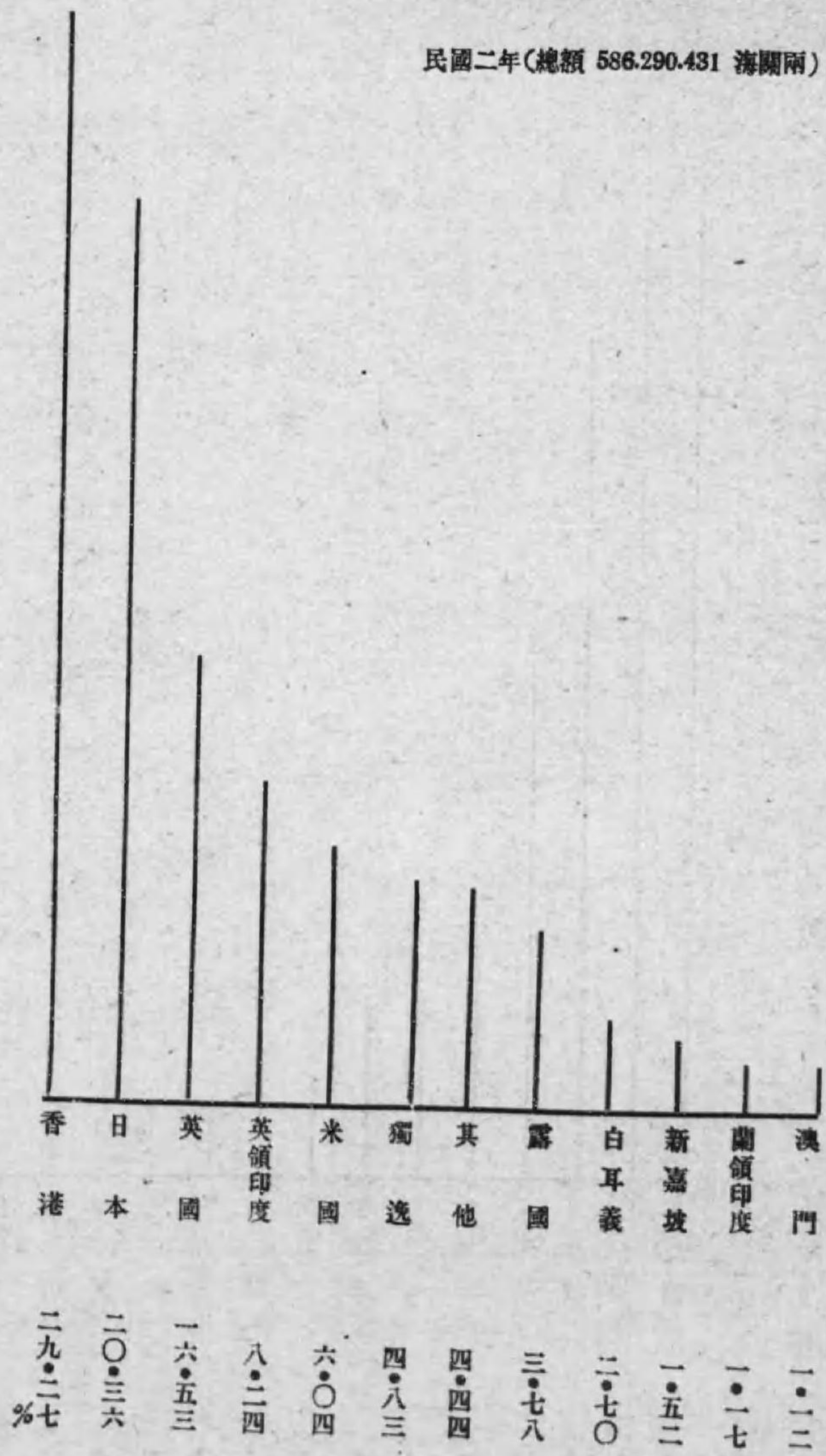
民國十三年支那主要輸出品別比較表

(總額 771,784,468 海關兩)



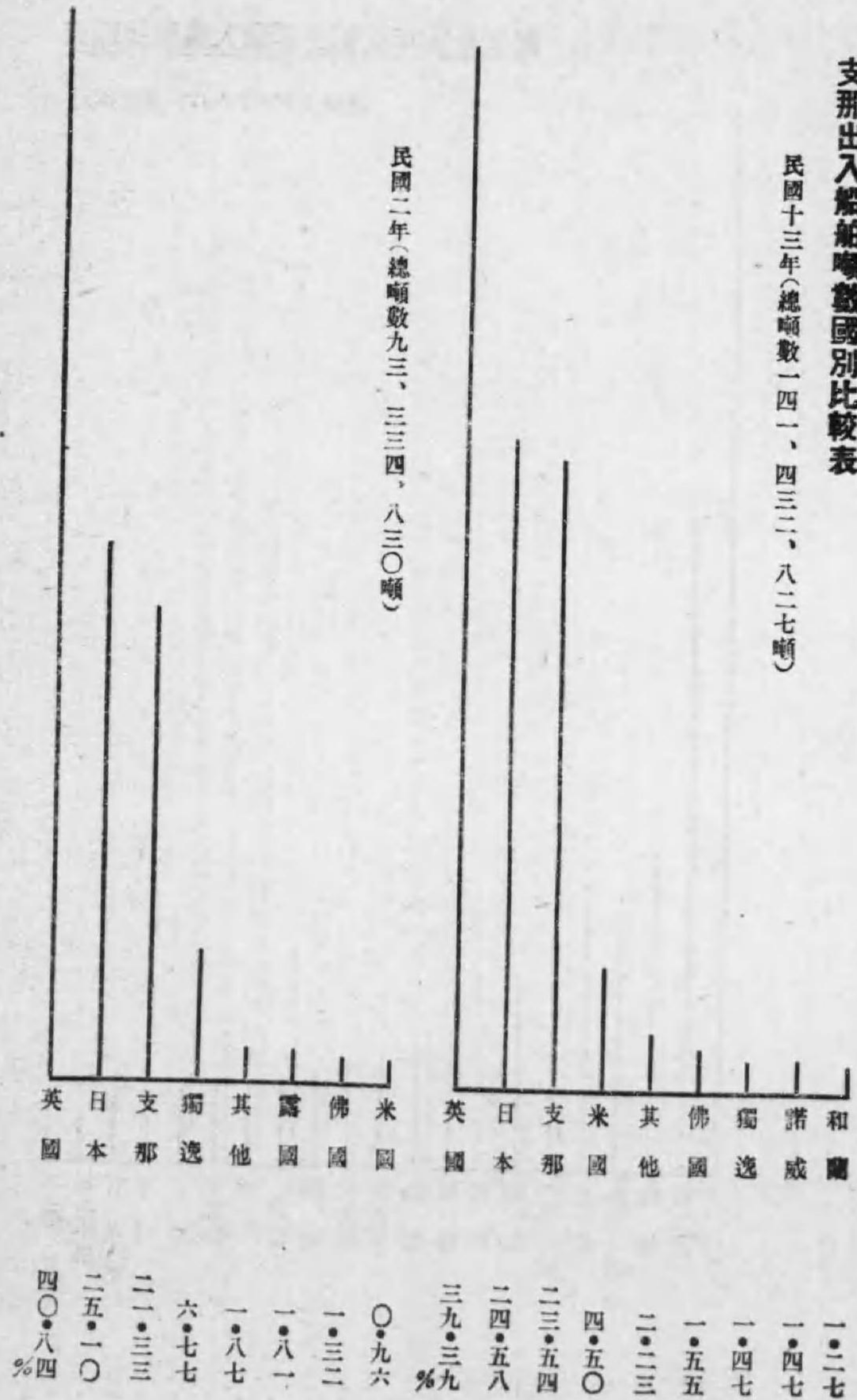
支那輸出貿易主要國別表(一)

民國二年(總額 586.290.431 海關兩)



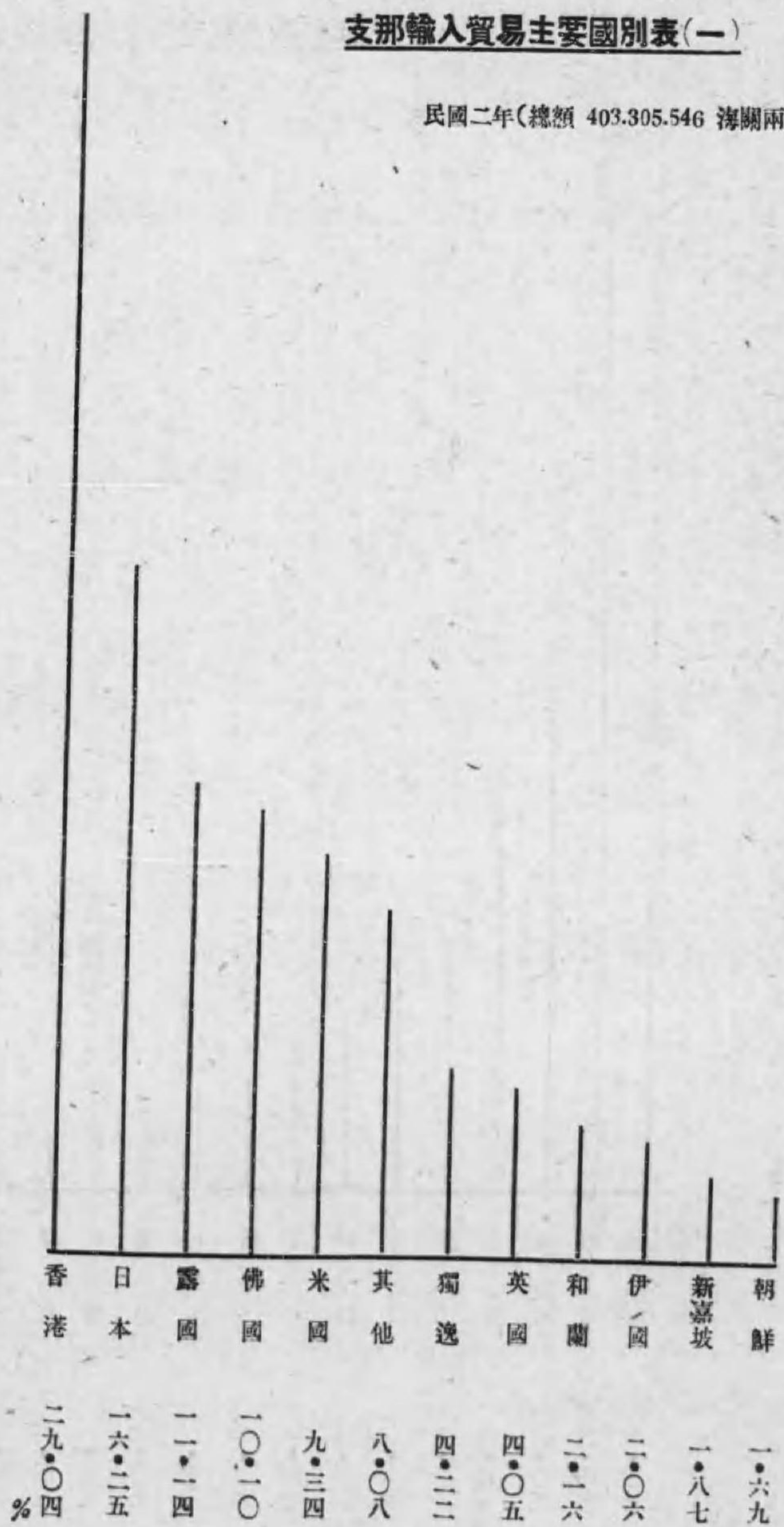
支那出入船舶噸數國別比較表

民國十三年(總噸數一四一、四三二、八二七噸)



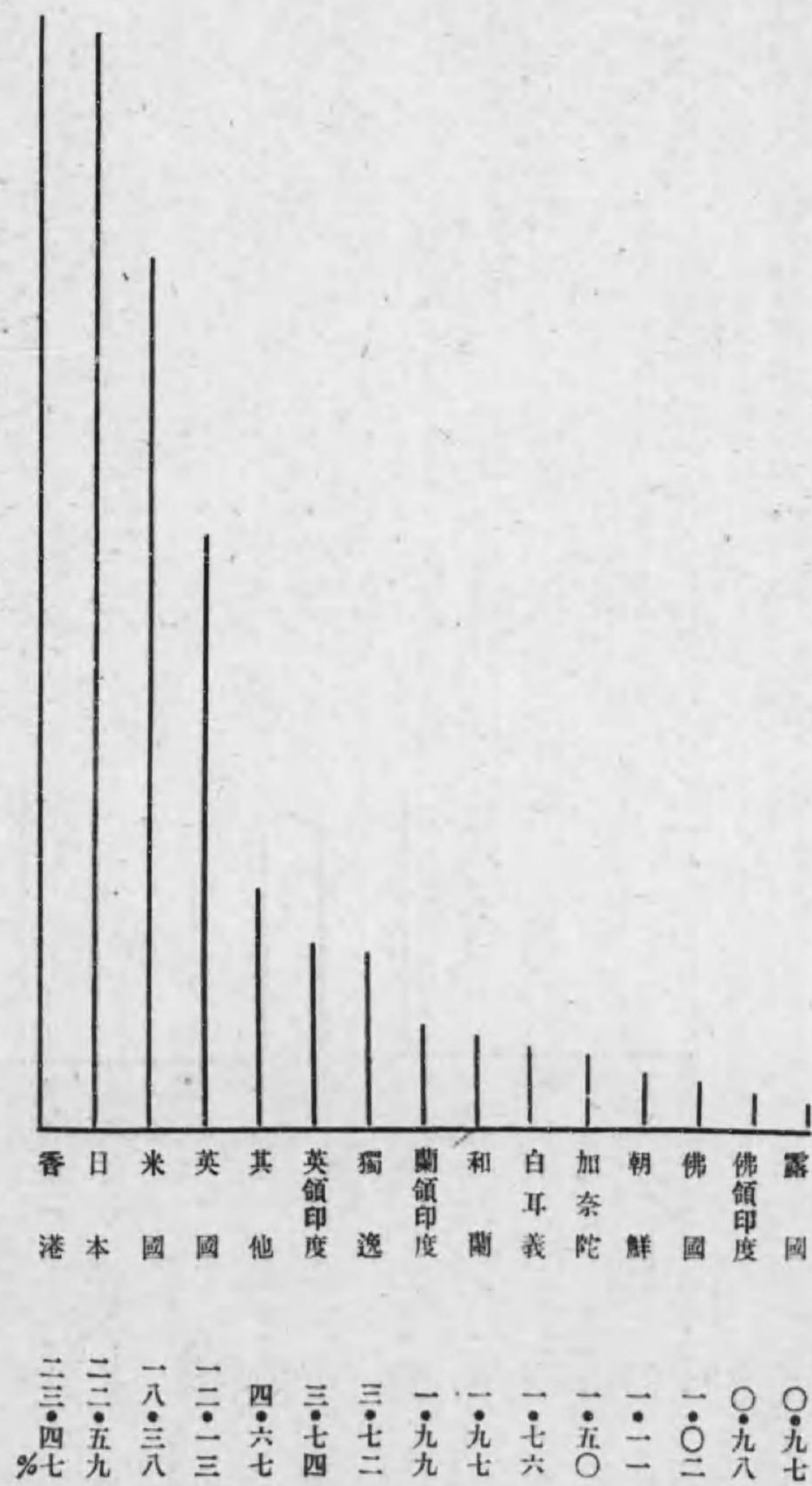
支那輸入貿易主要國別表(一)

民國二年(總額 403,305,546 海關兩)



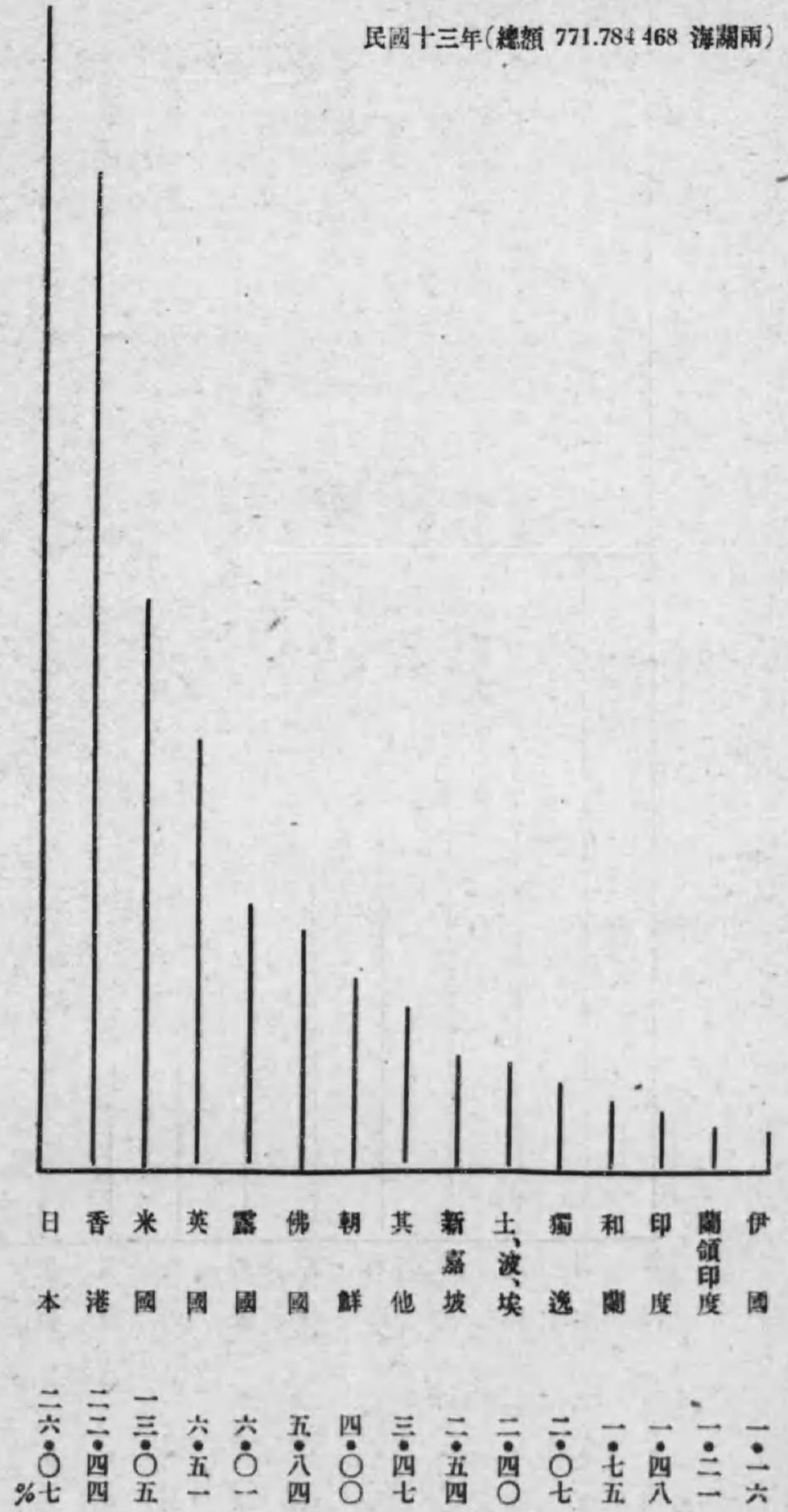
支那輸出貿易主要國別表(二)

民國十三年(總額 1,039,102,156 海關兩)



支那輸入貿易主要國別表(二)

民國十三年(總額 771,784,468 海關兩)



我國輸出貿易主要國別表

國別	大正十一年		大正十二年		大正十三年	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
北米合衆國	七三,三七六千兩	四,七%	六五,六二九千兩	四,八%	七四,九六六千兩	四,四%
支那	三三,五三〇	二,〇%	二七,一九一	一,八%	三四八,三九九	一,九%
關東州	七,八五八	〇,四%	六七,八七〇	四,七%	七二,六〇一	四,二%
香港	六五,四三二	四,〇%	五五,三一九	三,八%	七九,〇一一	四,四%
英領印度	九七,二〇三	五,九%	九九,六一九	六,九%	一三五,三七三	六,四%
蘭領印度	四七,四〇〇	二,九%	四〇,五九一	二,八%	五九,三三一	三,四%
濠太刺利	三六,七一一	二,二%	三三,六四九	二,三%	四一,九〇七	二,五%
英吉利	五四,四三七	三,三%	四〇,四一〇	二,八%	六一,〇四四	三,六%
佛蘭西	七八,六六六	四,八%	二五,六五五	一,八%	八五,七九〇	四,八%
埃及	六,四三三	〇,八%	一八,〇四六	一,〇%	二七,〇八〇	一,四%
加奈陀	一三,六六七	〇,四%	一四,三四九	〇,一%	一五,四五二	〇,九%
其他	九九,七三〇	六,二%	一七五,四三三	三,一%	一五六,一三三	七,六%
計	一,四四一,四四一	100.0%	一,四四一,四四一	100.0%	一,四四一,四四一	100.0%

我國輸入貿易主要國別表

品名	大正十一年		大正十二年		大正十三年	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
北米合衆國	五九六,一六九千円	三,五%	五一,九七千円	二五,八%	六七〇,九四千円	二七,三%
英吉利	三三,三〇〇	二,三%	三三,一三四	二,二%	三三,三五一	二,二%
支那	一八六,三四三	九,九%	二〇四,六七九	一〇,三%	二二七,六五二	九,七%
關東州	一三〇,五七四	七,〇%	一四八,八〇七	七,六%	一七五,七三七	七,二%
香港	六九〇	—	一,六五三	〇,一%	一,〇九九	〇,三%
英領印度	二五四,〇八八	一,三%	三〇五,七八八	一,五%	三八七,七九九	一五,八%
蘭領印度	七,七五七	三,八%	七三,九五六	三,七%	九二,四〇一	三,八%
濠太刺利	八二,〇九〇	四,三%	九六,六三三	四,九%	二九,九七一	一,四%
獨逸	一一〇,六三三	五,九%	一一〇,二四三	六,一%	一一四,六四二	五,九%
佛蘭西	一八,四六三	〇,九%	三三,一〇一	一,一%	三三,七七一	一,三%
加奈陀	一六,五五九	〇,八%	二四,三六〇	一,二%	四〇,〇三五	一,五%
其他	一九〇,六四四	一〇,一%	三三,八八〇	一,九%	三三,三六〇	一,五%
計	一,八二〇,二〇八	100,0	一,九二二,三三三	100,0	二,四四四,四〇一	100,0

我國對支主要輸出品統計表

品名	大正十一年		大正十二年		大正十三年	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
綿織物	一〇八,七五八千円	—	一一〇,九三三千円	—	一三三,七二二千円	—
綿織糸	六二,一八五	—	三八,五〇三	—	四〇,八八四	—
砂糖	一七,三三六	—	一三,六八一	—	二七,一〇〇	—
機械及同部分品	九,六三七	—	五,四一八	—	四,六三三	—
紙類	八,七二〇	—	七,六六九	—	八,〇五二	—
石炭	八,一九一	—	九,五三二	—	三三,三〇〇	—
水産物	七,八一	—	八,八二八	—	八,八八八	—
絶緣電線	六,七三三	—	六,六一	—	三七	—
木材	五,六一	—	四,一七五	—	四,七〇〇	—
鐵製品	三,六二三	—	三,七五五	—	四,〇一八	—
漆寸軸木及同用經木	二,六六六	—	—	—	—	—
鐵	二,六一四	—	九六五	—	—	—
硝子及同製品	二,六〇九	—	—	—	—	—
絹織物	二,五九八	—	—	—	—	—
ゴムタイヤ	二,三二二	—	一,〇九九	—	—	—

石 磁 器 輪
陶 磁 器
帽 子
洋 傘
メリヤス製品
セメント
銅
煉 鋼
其 他 寸

二、一九七
一、六二五
一、五四一
一、三三九
一、一六七
九七四
八八九
五七九
七、九〇六
三、四四一

一、三六二
一、三五七
一、二九八
一、三三三
八五五
四六七
二五五
六、五四四
三、二九一

二、五五八
一、八五三
一、四八七
二、一九七
一、〇四五
一九四
二六六
八〇、七五四
三、四八、九九九

我國對支主要輸入品統計表

品 目	大正十一年	大正十二年	大正十三年
棉花	二八、五二四	三九、三三〇	七二、五二〇
豆粕其他油粕	一九、八三三	二九、五五九	一八、三九六
鷄 卵	一七、九二九	一六、九七〇	一五、一三〇
豆 類	一一、九七〇	三三、〇一一	三三、一三三
胡麻菜子其他種子	九、〇六一	八、六四二	八、六二一
穀 類	八、五五五	六、四八一	三、七六七
苧 麻 類	八、四八四	五、八四二	一〇、八三五
鐵礦其他礦石	七、三〇五	六、二〇〇	七、八二六
鐵(塊及錠)	六、七九二	五、一四〇	七、九三三
小 麥	—	四九三	一七五
木 材	五、九三五	五、一九二	三、八五七
石 炭	四、九六四	八、三八九	七、四三三
野 蠶 絲	四、九三八	—	—
皮 類	三、六九九	—	—
繭 類	三、四四一	—	三、〇三五

食 漆 羊 其
鹽 毛 他
計

三、二七
二、二八一
九〇三
三八、一六
一八、三三

三〇
一、二六
五八、六六
二〇四、七九

六
一、六三
一九二
三、七、六三

大阪港輸出貿易主要國別表

支那	大正十一年		大正十二年		大正十三年	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
支那	一九五、五八四	六〇、六%	一六六、九〇	五九、二%	三六、二〇〇	五九、二%
英領印度	四四、八四〇	一三、九	四二、六三三	一四、四	六一、三二	一五、一
關東州	四〇、四四〇	一三、五	四一、五〇〇	一四、〇	四三、六一	一三、〇
香港	一三、六六五	四、三	一一、八九九	五、〇	二〇、六七	五、〇
蘭領印度	一三、八三九	四、三	一四、八七二	四、〇	二六、四一八	六、四
埃及	一、〇五六	〇、三	五、四六三	一、八	四、六一	一、三
海峽殖民地	二、五五九	〇、八	二、九〇〇	一、〇	三、三三二	〇、七
米國	二、二三五	〇、七	二、四〇七	〇、八	四、〇九一	一、一
英國	一、九四四	〇、六	一、九六五	〇、七	一、五三五	〇、四
其他	六、六二九	二、〇	六、二三九	二、一	一〇、五九五	二、八
計	三二一、七四	一〇〇、〇	二八七、七〇	一〇〇、〇	六〇一、七二	一〇〇、〇

大阪港輸入貿易主要國別表

支那	大正十一年		大正十二年		大正十三年	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
支那	三,六七九千	二九.〇%	四,五二二千	二五.七%	五,五九九千	二〇.八%
英領印度	二,二六三	一六.九	三,七四六	二一.一	七,四三三	二七.五
米國	二五,四七四	一九.九	三三,八五六	二〇.二	五〇,〇九九	一九.四
關領印度	一五,一一四	一一.八	一八,六〇八	一〇.五	二〇,九三三	七.九
關東州	八,六六四	六.八	一一,五五一	六.五	二二,二五六	八.六
英國	七,七〇七	六.〇	一〇,二九七	五.九	一五,三五〇	五.八
獨逸	二,二二三	一.七	四,七四七	二.七	九,七四四	〇.七
露領亞細亞	二,〇〇八	一.一	二,八二七	一.六	一,五六三	〇.八
加奈陀	五四	〇.四	一,六六六	〇.九	二,三八一	一.一
濠太刺利	二七三	〇.二	一,三三二	〇.七	一五,九九九	五.九
其他	九,九五五	六.二	七,四三三	四.二	一四,一五八	五.五
計	一二,二二四	一〇〇.〇	一七,四一四	一〇〇.〇	二六,四一四	一〇〇.〇

大阪港對支輸出主要品統計表

品目	大正十一年		大正十二年		大正十三年	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
製茶	三三,〇七四	三三.〇%	三三,一三三	三三.〇%	三八,一五七	三三.〇%
昆布及刻昆布	一四九,六六〇	一四.九%	五九,八四一	五.0%	九二,〇三三	八.0%
乾魚及鹹魚	一六,四三三	一.六%	一六,三九三	一.六%	二二,三七八	一.九%
其他ノ水產物	三八,四三三	三.八%	三〇,八五三	三.0%	四三,三六九	三.7%
精糖及冰砂糖	一,七四三,〇七三	一七.四%	一,五九二,三三五	一五.4%	七,四〇七,〇七三	六.3%
清酒	三七九,五三三	三.八%	四四七,三四七	四.0%	四八〇,四四三	四.1%
麥酒(壇入)	二二,四三三	二.二%	三〇,四二二	二.7%	一八一,八三三	九.1%
其他ノ蔬菜及果實	七五,三九一	〇.七%	六,七八七	〇.〇%	三三,四九五	〇.三%
礦水及其他ノ諸飲料	三三,二二五	〇.三%	六,一七〇	〇.〇%	四四,三七三	〇.四%
寒天	八六,八六七	〇.八%	九,〇七六	〇.〇%	四六,一九四	〇.四%
罐詰及罐詰食物	二〇二,八四四	二.〇%	二八〇,四三九	二.6%	一九八,九九〇	一.7%
紙卷煙草	二八二	〇.〇%	—	—	三六八,七三三	三.1%
革	一七八,三三七	一.8%	一〇〇,七二六	〇.9%	一三八,八六二	一.5%
機械用帶(革製)	二九,九四五	〇.三%	三三,三四一	〇.三%	一八五,六一一	1.6%

化粧石	六四、二六九	五六三、〇八〇	七二、一四一
化粧用品	五五九、七二〇	五四八、七三二	六七、九六〇
苛性曹達	一七、九九三	一一、三七三	九、〇三四
晒粉	一六、六二四	一三五、〇六三	一〇九、二七九
賣藥	五三九、六八三	一五八、四四二	二八〇、五七八
燐寸	三三、四四八	一八、三七一	八四一
綿織糸	四六、八二一、八二八	三二、四六一、五一一	三六、二四、五四一
綿縫糸	三六八、五八一	三三〇、三〇二	二七七、六四四
綿子	七五、四八六	九一、一七三	八〇、四二二
其他ノ絹布及絹綿布	八七〇、七五一	一、〇三一、六〇〇	一、三二八、七四五
白木綿	三二、六五五	九四、七四三	七三、三九六
綾木綿	六、二七三、一九六	三、八四〇、三六七	四、五七七、一五三
綾金巾及ジーンズ	九、〇三四、四九二	三、七三二、一〇〇	二、八四二、五二〇
小倉織	二、五五六、八六六	一八、二二一、六八〇	三〇、八二八、四二六
被褥	四一〇、八〇八	三三三、三八三	三四七、五九九
綿フランネル	一四〇、五三八	一一、九二三	一、二二一、〇八五
綿布	三、五八八、八五八	三、五八〇、一〇四	五、二三八、二二五
生金巾	三三、六二六、四三五	三三、九七一、四三三	二九、二四、一四六

生シロチン	五、二三三、三二一	一、五七九、八四一	九六七、五二八
更紗	四、八四四、一七九	六、九九一、二六	二、二八八、七五〇
天竺布	五、一九六、四六六	四、五五八、六五七	五、五八〇、九元
綿帆布	三〇八、一〇〇	二四三、六八六	三〇九、八二八
其他ノ綿織物	一八、七五五、七〇〇	二六、〇三八、三三三	四五、〇三三、七六九
羅紗及セルヤズ	六六、三三	五一、六三二	三七、〇三六
綿アランケット	四四一、二五	二六五、二六二	四四三、一三四
綿製浴巾	四八、九九〇	二四、四三九	二九、九五八
綿メリヤス肌衣	七四四、六五	四六七、四五七	五九八、一四二
足袋(メリヤス製)	一五二、九六三	一〇六、八四七	一〇三、八八一
帽子(フェルト製)	九三〇、六七二	六八五、六六九	七九一、六〇六
其他ノ帽子	五〇八、三七一	四四四、二五九	六六八、七六
鈕釦	四三、七五四	五四三、六二八	七三二、三六七
洋子	六〇三、三三	四七六、九七七	三四〇、三五九
洋服	九、一七九	一一、〇六八	九、一四七
印刷料紙	一、三四三、三三	一、四八一、三三九	二、〇四二、九七六
煙草用紙	一、二八四、四八二	一、二〇三、〇七二	九四九、九三三
鳥子紙	三三二、三三	二五九、〇八〇	一三八、二六九

紙	板	紙	一九二、八三二	二六、四六一	八六、六三九
紙	包	紙	四二〇、一九九	三〇三、三九五	三五七、七五八
紙	其	紙	三七四、五七五	三九七、五八四	五三一、六三三
紙	其	紙	三四〇、二一八	二〇八、八七二	二〇一、一七八
紙	其	紙	一、〇〇七、一五五	九六六、二四六	九一五、三〇四
紙	其	紙	四六三、三七七	四二一、七三四	四六七、九一〇
紙	其	紙	五八七、一〇五	四三三、六七三	六九八、七五二
紙	其	紙	七九五、二六一	八七五、七四四	一、四九二、七九一
紙	其	紙	五四三、七三六	四八二、六九九	四八六、八五二
紙	其	紙	五七五、八六五	三三五、九三二	六六八、二六二
紙	其	紙	三〇九、九九三	二八、〇七五	一八三、五四七
紙	其	紙	二八六、三三六	四一〇、三四九	三九、二二七
紙	其	紙	六六、七〇二	七六、九三六	九一七、一六八
紙	其	紙	二、二〇八、六二四	一、八四三、三九九	二、九三五、六〇〇
紙	其	紙	五、一四三	六三、一九二	二七、一七一
紙	其	紙	一八五、四二二	一三、七三八	一四三、六四七
紙	其	紙	二、九四九、〇七一	二、一〇二、六八九	一、四五二、六五三
紙	其	紙	一、六六〇、二九六	一、一七、一四七	一、〇〇七、七七二

紙	板	紙	四二〇、二五八	三二一、八七四	二六七、四一九
紙	其	紙	三〇七、〇三二	一五三、一六七	一六六、〇〇一
紙	其	紙	七三七、六〇四	五二、九〇七	二、〇一〇、四八六
紙	其	紙	八五、八七四	九八、二九三	一〇二、九四〇
紙	其	紙	六七〇、九七四	七三〇、五五三	八六四、六一一
紙	其	紙	四、六三〇	二七、二六八	二四、一四〇
紙	其	紙	二、八三〇	一一、六八六	八、四八七
紙	其	紙	三九、七五七	三〇八、一八五	六三四、九三六
紙	其	紙	一七、八〇〇、一〇九	一四、七四六、三三四	一七、五二七、〇五三
紙	其	紙	三、一八七、一四三	三、四七五、二一九	八、一〇三、二二六
紙	其	紙	一九五、九三三、六〇八	一六二、九〇一、九〇二	二二八、一三二、八四七

大阪港對支輸入主要品統計表

品目	大正十一年	大正十二年	大正十三年
大豆	八九,三八四	一八〇,六六四	一四三,四六四
落花生豆	一〇七,四二二	一八五,〇五八	五〇,一六七
其他ノ豆類	一四二,〇六九	二八,二八三	二六九,五九八
荏胡麻子	—	—	三,六八八
桑子及芥子	三,〇三五,二三三	一,〇三三,四〇〇	九八,六六六
亞麻子	七八,〇四三	四五,四八一	七五〇,六一一
棉子	九九四,八二四	一,六二六,三八四	一,二五四,九一九
牛(生肉)	一,〇〇八,九二〇	八三三,九四八	二,三九一,七四四
鳥卵	三,三三三,九三三	三,〇一〇,八五三	三,三八一,九四一
食鹽	一〇九,六〇八	一一六,〇〇〇	—
牛皮及水牛皮	二,三三四,七五一	三,五〇一,二三四	二,七二八,一〇六
其他ノ獸皮	五四七,八四七	九六九,九七七	四七六,三三三
豚毛	八三四,八六六	一,二二六,二七三	一,二一七,四〇八
其他ノ獸毛	一〇〇,七九四	六三,四五四	四四,三七七
獸骨	二二,五四五	一六,一九八	一一,三八二
貝殼	一八一,二四一	三六,六五三	二二九,七八七

品目	大正十一年	大正十二年	大正十三年
牛脂	七二,七七四	四三三,七七八	四九九,一九一
甘草	一三七,九六三	一七五,七九一	一四七,一六一
没食子、五倍子等ノ材料	二二七,〇四九	四八四,四五二	一三六,八三三
漆	一,二四二,八三九	一,二四,九七八	一,二四,六六二
實棉及纒綿	八四〇,九六三	三,四二一,五九七	一〇,八七七,五二二
亞麻、苧麻、ラミー	二,二五五,一九五	二,八六三,二〇八	四,一〇七,一八五
大麻、黃麻及マニラヘ	四一七,四九五	四三三,七六六	三七四,五六
其他ノ植物纖維	五〇七,一八四	三九九,九三二	三四五,七四九
羊毛	七三,三七七	九一,七八八	二四三,七二四
山羊毛及駱駝毛	七二,八七七	六五,六八九	九一,四〇九
野蠶絲	三,八五一,〇六六	三,七三三,五七六	二,〇三三,六一九
屑及故纖維	七八七,五八八	一,七五,八九三	一,三二〇,三七八
唐紙	七七,四四四	四一〇,五五五	一三九,四九九
燒石	一三〇,二五〇	一八,〇〇〇	三五,〇〇〇
石炭	九〇八,四三六	二,四八七,二六六	一,三三八,九九三
鐵	五四七,四五八	一,六一五,八九八	二,〇三三,八九〇
花梨木、鐵刀木紫檀等	五二,四九〇	三〇,九八二	六,三八四

麥	二八一、二五九	三三三、六七	三〇九、〇八
稈	一、一四八、四五四	一、〇五七、〇六一	一、六九八、八九〇
粉	五六〇、一八一	八七五、三三七	五四六、五三二
骨	八二、〇三七	三四	五〇
豆	四四八、三六三	六三三、二六四	三九三、六二二
棉	六〇、五八四	六六、二七四	七九、四四一
子	二一、〇〇〇	九二、三二〇	一五、八七四
子	七、九三七、六七三	九、六四九、三五五	二二、九七三、三三七
其他ノ油	一、三六五、九五六	六七三、七六六	八九三、五一六
其他	三六、六六、七〇八	四五、五二〇、七八六	五五、九五九、一七五
再輸入品(内國産)			
計			

— 當部調査刊行書目録 —

支那に關するもの

- 支那貿易事情 (大阪毎日新聞社出版) (定價 一圓二十錢)
- 支那貿易の趨勢
- 上海に於ける勞働者
- 支那蠶糸業と生糸貿易
- 日貨排斥の影響
- 震災の影響と對支貿易の前途
- 支那政界の近情と蘇浙開戦
- 蘇浙開戦と上海商品市況
- 支那動亂の影響と漢口天津及び大連市場
- 支那動亂の影響と我國の對支貿易
- 排外暴動の上海市場に及ぼせる影響
- 上海工人會は承認すべきか
- 支那に於ける排日運動と今回の排外暴動

民國十三年 支那貿易年報

露國に關するもの

- 露國の通商組織と日露貿易の概觀
- 對露通商に關する考察
- 勞農露國の外國貿易制度論

大正十四年九月十三日印刷
大正十四年九月十五日發行

(非賣品)

發行所 大阪市役所産業部調査課
印刷者 市 川 武 男
大阪府西區京町堀通一丁目
印刷所 合資會社 日本社印刷所
電話土佐堀二五二三番

524

382

終